

ミニディスクレコーダー

# MJ-HT77



MDLP

*Pioneer*

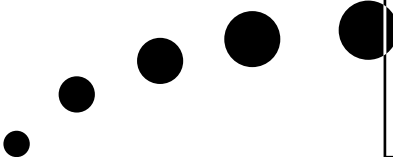
## メールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/members/>

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。

ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からでもご利用できます。)



新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびはパイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

## 安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

### 安全に正しくお使いいただくために

#### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



→ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

### 警告[異常時の処理]



プラグを抜け

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



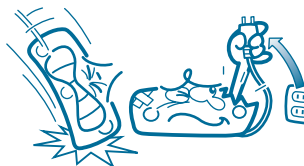
プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



<b>準備</b>	
付属品の確認 .....	3
接続のしかた .....	4
本体部をつなく .....	4
各部のなまえ .....	5
MD レコーダー(MJ-HT77) .....	5
表示部 (HTZ-77DV) .....	5
MD の取扱い .....	6
アナログ設定をする .....	22
曲の途中から続けて録音する .....	23
タイマー録音する .....	24
タイマー録音を解除する .....	26
デジタル録音レベルを調整する .....	27
表示を切りかえる .....	28

## MD を聞く

MD を聞く .....	7
繰り返し演奏する (リピート演奏) .....	8
順不同で演奏する (ランダム演奏) .....	9
ランダム演奏中にリピート演奏する .....	9
好きな曲を好きな順番で演奏する .....	10
プログラム登録した内容を確認する .....	10
プログラム登録した内容をすべて消す .....	10
プログラム演奏中にリピート演奏する .....	10

## MD に録音する

MD 録音の基礎知識 .....	11
MD のシステム上の制約 .....	11
LP2、LP4 録音について .....	12
CD から録音したとき .....	12
ラジオ放送から録音したとき .....	12
テープや外部機器から録音したとき .....	12
長時間録音 (MDLP) の設定 .....	13
CD を MD に録音する .....	14
CD の好きな曲だけを MD に録音する .....	16
外部機器の録音 .....	18
マニュアルで録音する .....	19
曲番号の設定をする .....	20
録音中に曲番号を追加する .....	21

## 編集機能を使う

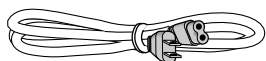
MD の編集機能でできること .....	29
ディスクや曲、	
グループに名前をつける .....	30
曲を 2 つに分ける .....	32
1 曲だけ移動する .....	33
2 つの曲を 1 曲にする .....	34
曲を 1 曲だけ消す (トラックイレース) .....	35
全曲を消す (オールイレース) .....	36
編集をキャンセルする .....	37
MD のグループ機能について .....	38
グループを登録する .....	39
グループを選ぶ .....	40
グループ演奏をする .....	41
グループを変更する .....	42
グループ 1 つを解除する .....	43
登録したグループすべてを解除する .....	44

## 付録

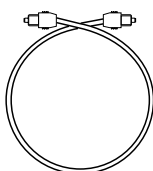
こんな表示が出たときは .....	45
故障? ちょっと調べてください .....	46
アフターサービス .....	47
日ごろのお手入れ .....	47
仕様 .....	47

## 付属品の確認

電源コード × 1



光ケーブル × 1



保証書  
ご相談窓口・修理窓  
口のご案内  
取扱説明書 (本書)  
安全上のご注意

# 接続のしかた

- システムの性能を十分引き出すため、下記のように設置して下さることを推奨いたします。HTZ-77DVシステムに本機を組み合せる場合は、図のようにDVD/CDチューナーの下に置いてください。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

## 本体部をつなぐ

HTZ-77DVの「システムセットアップガイド」を併せてご覧ください。本体部の接続のしかたが、下図のようになります。スピーカーコードやAM/FMアンテナの接続は、同様に行います。

- ① MDレコーダーのシステムケーブルを、DVD/CDチューナーに差し込みます。
- ② DVD/CDチューナーの「光出力」とMDレコーダーの「光入力」を付属の光ケーブルで接続します。
- ③ 電源コードをMDレコーダー(MJ-HT77)のACインレットに接続した後、電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

注意:

MDレコーダーは、DVD/CDチューナーと接続しないと動作しません。

設置上の注意:

- 直射日光のあたる場所や、暖房機具の近くには設置しないでください。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

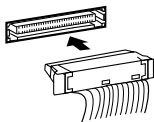
## システムケーブル



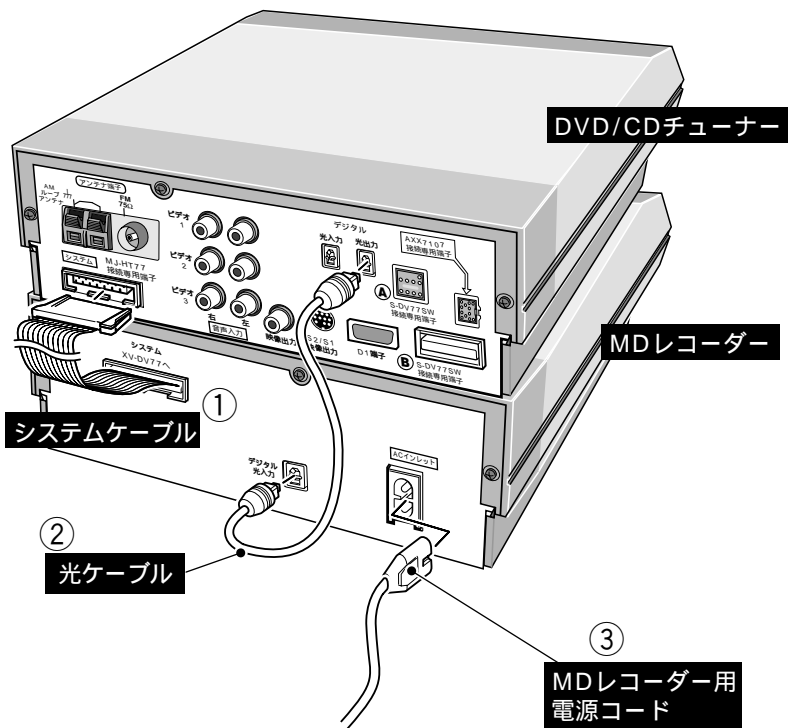
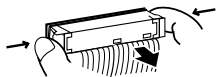
### 注意

システムケーブルのコネクターを着脱する際は、電源コードを壁のコンセントから、必ずはずしてください。電源コードをコンセントに接続したままコネクターの着脱を行うと、機器が故障する恐れがあります。

接続するときは、ケーブルが下に出る向きでカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

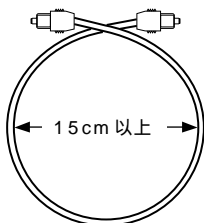


はずすときは、両横の突起を押し込みながら引き抜いてください。



## 光ケーブル取り扱い上の注意

光ケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が15cm以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。



# 各部のなまえ

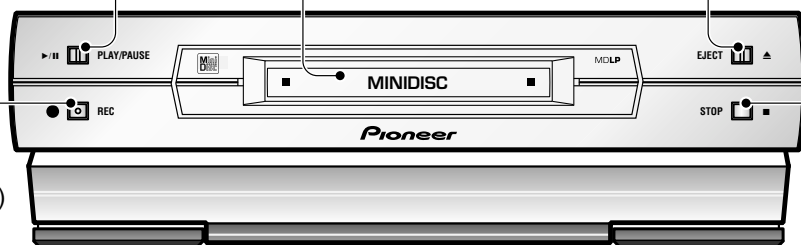
## MD レコーダー(MJ-HT77)

演奏/一時停止(▶/⏸ PLAY/PAUSE)  
ボタン (タッチセンサー)

MD挿入口

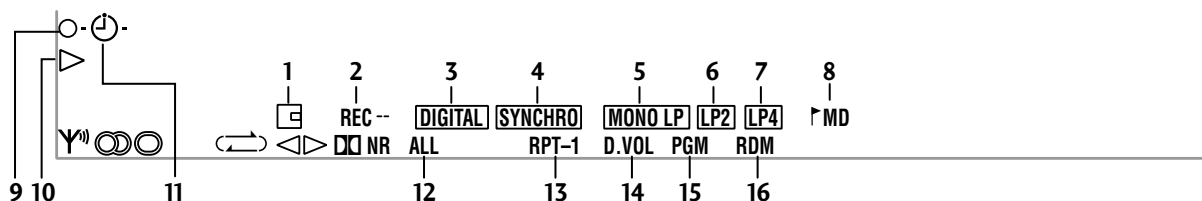
MDイジェクト(▲ EJECT)ボタン  
(タッチセンサー)

録音(● REC)  
ボタン



停止(■ STOP)  
ボタン

## 表示部 (HTZ-77DV)

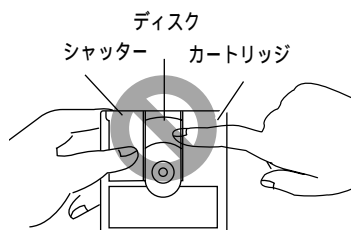


- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 MD 録音時に点灯、録音一時停止時に点滅</li> <li>2 MD 録音時、録音一時停止時に点灯</li> <li>3 デジタル入力選択時に点灯</li> <li>4 シンクロ録音時の待機 / 動作中に点灯</li> <li>5 MONO LP で録音中または MONO LP で録音された曲を再生中に点灯</li> <li>6 LP2 で録音中または LP2 で録音された曲を再生中に点灯</li> <li>7 LP4 で録音中または LP4 で録音された曲を再生中に点灯</li> <li>8 オートマークが ON の時に点灯</li> <li>9 タイマー録音設定中は点灯、タイマー録音実行中は点滅</li> <li>10 MD 再生時に点灯、一時停止時に点滅</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>11 タイマー設定実行中に点灯</li> <li>12 グループ再生が OFF 時に点灯</li> <li>13 全曲リピート中は「RPT」と点灯。<br/>1 曲リピート中は「RPT-1」と点灯。</li> <li>14 デジタルボリュームレベルが 0dB 以外に設定されているときに点灯</li> <li>15 プログラム設定時に点灯。</li> <li>16 ランダム演奏中に点灯。</li> </ul> |
|--|--|

# MDの取扱いかた

## ⚠ 注意

- ・ディスクに直接触れないでください。
- ・シャッターを無理に開けるとこわれます。
- ・分解しないでください。



下記マークのディスクをお使いください。



## MDとは

- 直径64mmのMDをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

## MDの種類について

再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD(録音はできません)

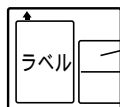
CDと同じ光ディスクを使っています。



シャッターが裏面にあります

## 録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。



シャッターが両面にあります

## 保管

- ・ ケースに入れて保管してください。
- ・ 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

## カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

## ラベルの貼付けについて

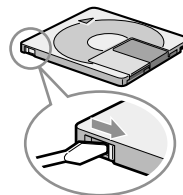
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取出せなくなります。

- ・ 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
- ・ 重ねて貼付けないでください。
- ・ ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



## 録音したMDを誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



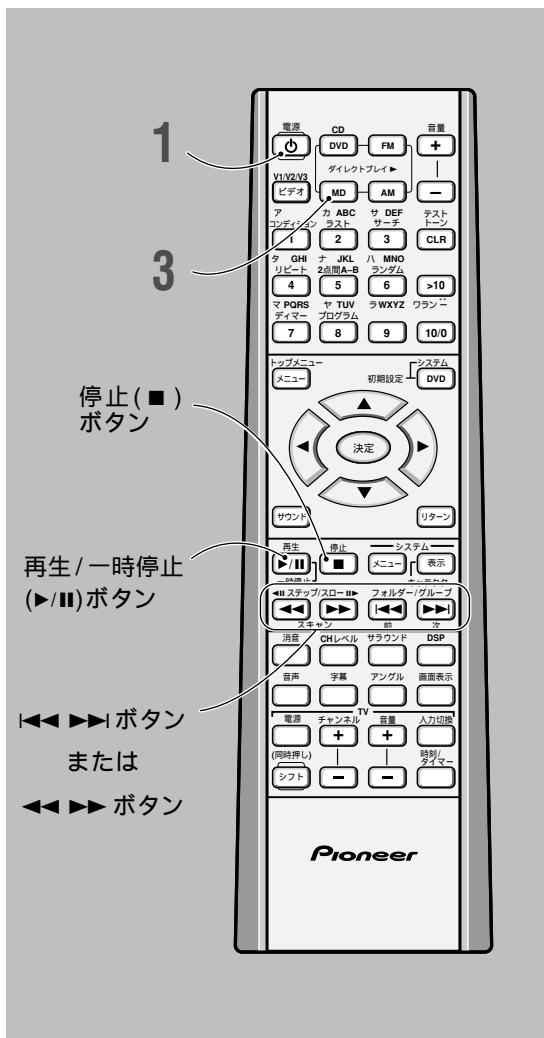
再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。




# MD を聞く


準備

MD を聞く



1.  電源ボタンを押して電源を入れます

2. MDを入れます  
途中から自動的に引き込まれます。  
録音・再生用 MD では MD 側面の誤消去防止つまみが開いているときは演奏をはじめます。  
再生専用 MD では、つねに演奏をはじめます。

3.  MD ダイレクトプレイボタンを押します  
1 曲目から演奏を開始します。  
本体の▶/|| (PLAY/PAUSE) ボタンでも演奏を開始することができます。  
曲名が入力された録音用、再生用 MD の場合 (30 ページ参照) は、曲のタイトルがスクロール表示されます。タイトルが入っていない場合は "NO NAME" と表示されます。

TAKE FIVE

"TAKE FIVE" と曲のタイトルが入力された例

演奏をやめるには ....

停止(■)ボタンを押します。

演奏を一時停止するには ....

再生 / 一時停止(▶/||)ボタンを押します。  
もう一度押すと、演奏を再開します。




曲の頭出しをするには ....




前の曲に戻るときは、◀◀ ボタンを 1 回押します。押した回数だけ曲を飛び越します。演奏中に 1 回押すと、演奏している曲の頭に戻ります。  
次の曲に移るときは、▶▶ ボタンを 1 回押します。押した回数だけ曲を飛び越します。

早送り・早戻しをするには ....

早送りするには、演奏中に ▶▶ ボタンを押し続けます。  
早戻しするには、演奏中に ◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を数字ボタンで選ぶには ....

- 1 ~ 9 曲目 : 番号のボタンを押します。
- 10 曲目 :  ボタンを押します。
- 11 曲目以上 :  ボタンを押してから選曲する曲番号を押します。
- 100 曲目以上 :  ボタンを 2 回押してから選曲する曲番号を押します。

例) 28 曲目を選曲する :   

例) 108 曲目を選曲する :     

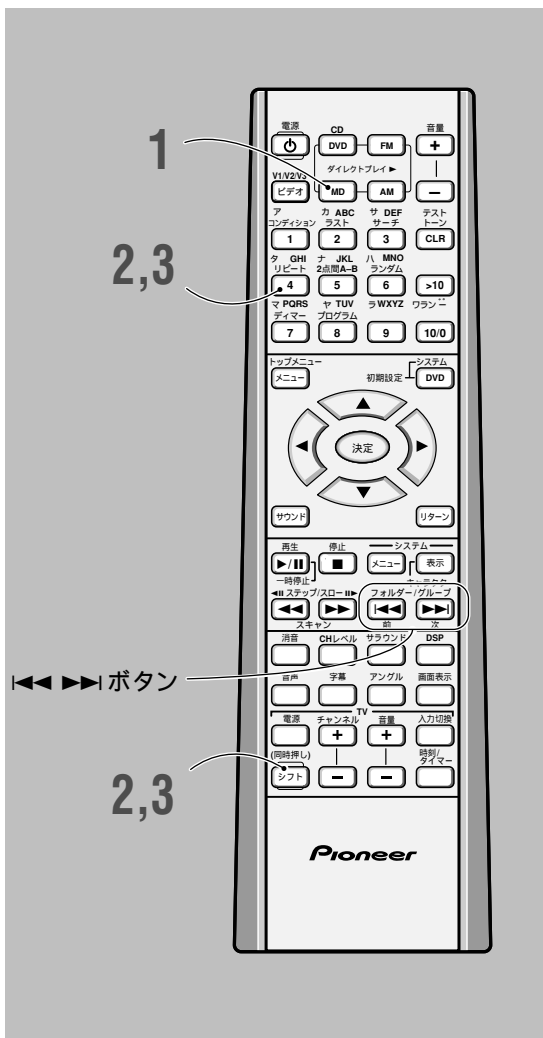
ただし、プログラム演奏中、ランダム演奏中、グループプレイモードでの演奏中はこの方法で聞きたい曲を選ぶ操作はできませんので◀◀▶▶ ボタンを押して曲を選びます。

## メモ

MD がセットされていると、電源がオフの時でもリモコンの MD ダイレクトプレイボタンを押すと電源が入り、演奏を開始します。(ダイレクトパワーオン)  
電源がオンの状態で、再生専用 MD または録音・再生用 MD の誤消去防止つまみが開いている MD を挿入すると演奏をはじめます。(スロットインオートプレイ)

# 繰り返し演奏する(リピート演奏)

MDの1曲またはディスクを繰り返し演奏します。



1. MDダイレクトプレイボタンを押します

1曲を繰り返し演奏する場合

ボタンを押して、演奏する曲を選びます。

2. シフトボタンを押しながらリピートボタンを押します

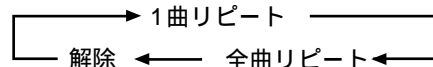
RPT-1 インジケーターが点灯します。

リピート

TAKE FIVE  
RPT-1

3. シフトボタンを押しながらリピートボタンを押して、1曲リピートか全曲リピートかを選びます

押すごとに、以下のように切りかわります。



1曲リピート

TAKE FIVE  
RPT-1

全曲リピート

TAKE FIVE  
RPT

1曲リピートは、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

全曲リピートは、MDの全曲を繰り返し演奏します。

## メモ

1曲リピート中に ボタンを押して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し演奏します。グループプレイモードで全曲リピートにすると、グループのみを繰り返し演奏します。

## リピート演奏を解除するには

手順3で解除を選ぶ。または、ディスクを取り出すか電源をオフにします。



# 順不同で演奏する(ランダム演奏)

MDから曲を無作為(ランダム)に選んで1回ずつ演奏します。

- シフトボタンを押しながらランダムボタンを押します  
RDMインジケーターが点灯し、ランダム演奏を開始します。

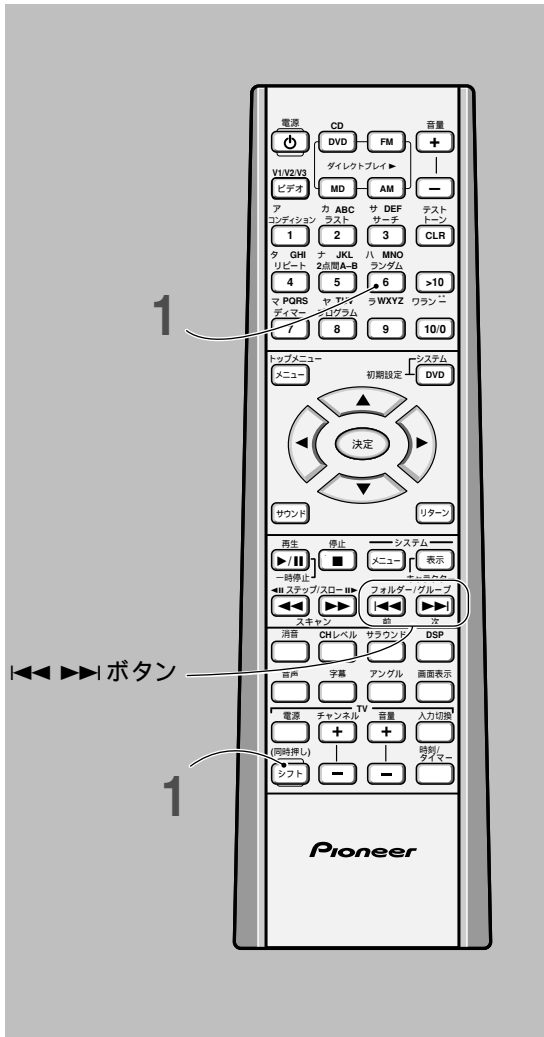


## ランダム演奏を解除するには

演奏を停止します。または、ディスクを取り出すが電源をオフにします。

## ランダム演奏中にリピート演奏する

ランダム中にも全曲リピート演奏を設定することができます。全曲リピート演奏を設定すると、ランダム演奏をしながら、MDの全曲を繰り返し演奏します(全曲ランダムリピート演奏)。

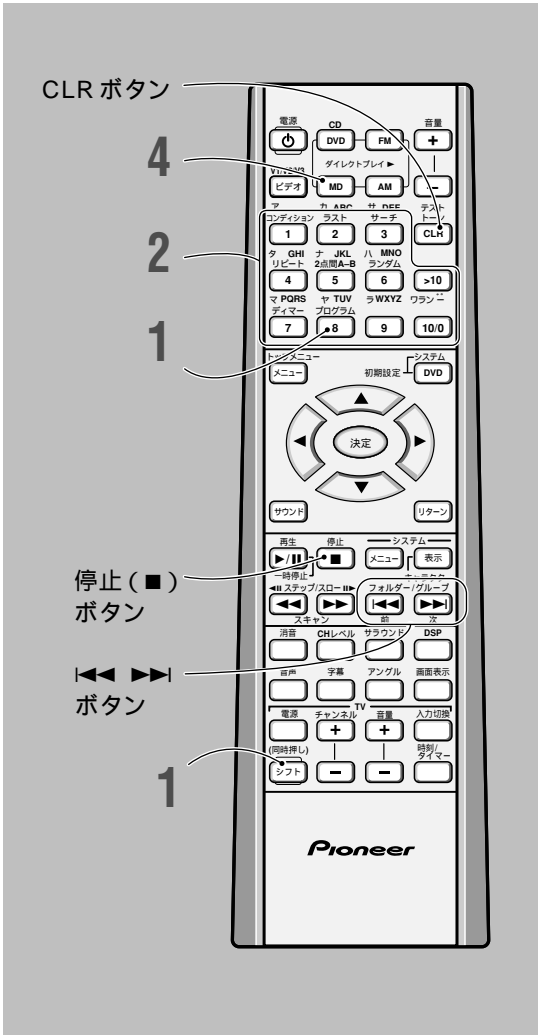


## メモ

ランダム演奏中に▶▶ボタンを押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。  
ランダム演奏中に◀◀ボタンを押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。  
グループプレイモードでランダム演奏すると、グループ登録されている曲のみを順不同で演奏(ランダム演奏)します。

MDを聞く

# 好きな曲を好きな順番で演奏する



- プログラム演奏といいます。
- 最大で24ステップまでプログラム登録することができます。

**1.** (同時押し) シフト ボタン

停止中にシフトボタンを押しながらプログラムボタンを押します

プログラム 8

P 1 ..... 0:00

プログラムステップ数 曲番号 曲番号の演奏時間

**2.** 数字ボタンを押して、聞きたい曲を選びます

例) 28 曲目 >10 2 8

例) 108 曲目 >10 >10 1 10/0 8

P 2 ..... 3:43

**3.** 手順 2 を繰り返して、好きな曲を聞きたい順番に登録します

登録する曲を間違えた場合は、CLR ボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順番に消えていきます。

**4.** MD ボタン

MD ダイレクトプレイボタンを押します

登録した順に演奏を開始します。

## プログラム登録した内容を確認する

### 停止中に、<<<>>> ボタンを押します

押すごとに、登録した曲から順に内容が表示されます。曲名の表示中に、停止(■)ボタンを押すと、登録したプログラムステップと総演奏時間を表示します。

## プログラム登録した内容をすべて消す

### 以下のいずれかの操作で登録した内容をすべて消去することができます

- 演奏中に停止(■)ボタンを 2 回押します。
- 停止中に停止(■)ボタンを 1 回押します。

## プログラム演奏中にリピート演奏する

プログラム中にもリピート演奏を設定することができます。1 曲リピート演奏と、全曲リピート演奏を設定することができます。1 曲リピート演奏を設定すると、プログラム演奏中の曲を繰り返し演奏します(1 曲プログラムリピート演奏)。また、全曲リピート演奏を設定すると、プログラムの全曲を繰り返し演奏します(全曲プログラムリピート演奏)。

## メモ

グループ再生モードではプログラム演奏はできません。プログラム演奏中にランダムボタンを押すと、プログラム登録した内容は解除されます。プログラムのトータル時間が 999 : 59 以上のときはプログラムのトータル時間は表示されません。

## 注意

MD を取り出したり電源をオフにすると、プログラムした内容は取り消されます。

# MD 録音の基礎知識

## TOC (トック) が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として( <sup>トック</sup> TOC: Table of Contents )が記録されています。したがって、演奏や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。ですからMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

## MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。

## TOC を記録するときの注意

- TOC の記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しく演奏できない場合があります。

## TOC はいつ MD に記録される？

- MD イジェクト(▲)ボタン押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき

## 録音中に停電すると

何も録音されていないMDへの録音中に、電源コンセントが抜けたり停電があった場合、その時の録音内容は全て消えてしまいます。すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

## デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器( BS/CSチューナー、DVD、DATの一部 )でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVDなどでデジタルコピーが禁止されている場合には、サンプリング周波数を変換してもデジタル録音はできません。また、本機では96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このような場合にはアナログ録音に切り換えてください。

## MD のシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに“ <sup>トック</sup> TOC FULL ”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、 <sup>トック</sup> TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になっていないのに“ <sup>ディスク</sup> DISC FULL ”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“ <sup>デフェクト</sup> DEFECT ”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音がとぎれることがあります。

## MD 録音の基礎知識

### 次のようなときは録音できません。

再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき

MDが誤消去防止状態になっているとき

MDの録音可能時間が残っていないとき

"TOC FULL" <sup>トックフル</sup>が表示されたとき

TOC <sup>トック</sup>が異常の時

### デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号にてやり取りすることができます。

アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。

それが、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は、以下の通りです。

- 1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。
- 2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

#### ご注意

- CS/BSチューナーでは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を禁止または制約している場合があるため、デジタル録音できないことがあります。
- アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

### LP2、LP4 録音について

本機でLP2、LP4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。

LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているため、ごくまれに雑音が入る可能性があります。

音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

### 曲番号について

MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

### CD から録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし4秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

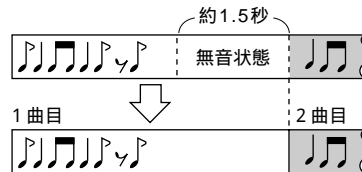


### ラジオ放送から録音したとき

1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

### テープや外部機器から録音したとき

1.5秒以上の無音部分があると、曲間と判断して曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。



信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。（20ページ参照）

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先：社団法人 私的録音補償金管理協会  
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

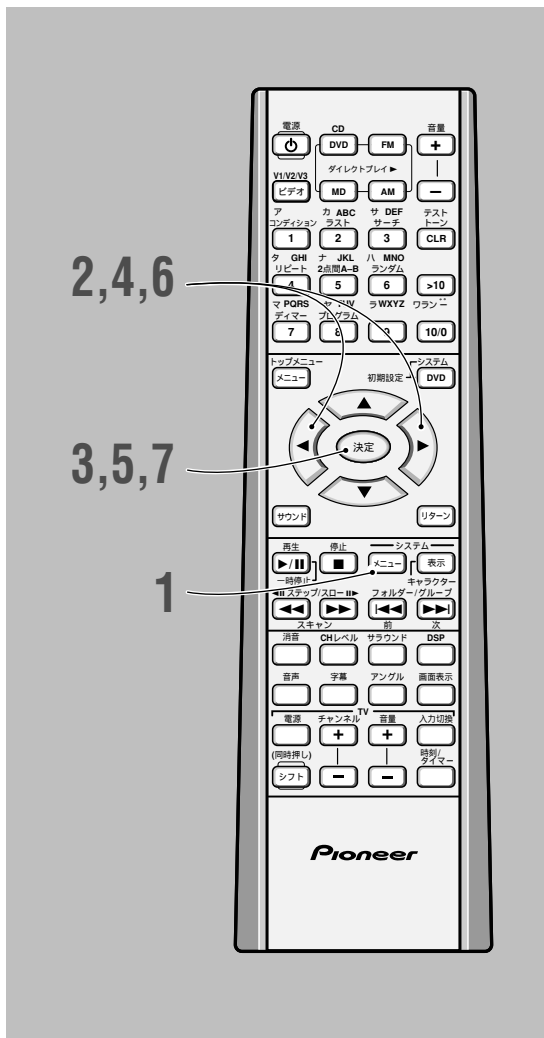
東京オペラシティタワー 11F

電話 (03) 5353 - 0336

FAX (03) 5353 - 0337

本機はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

# 長時間録音 (MDLP) の設定



MDに録音する設定を、通常のステレオ録音の約2倍 (LP2モード) または4倍 (LP4モード) にすると、長時間ステレオ録音ができます (MDLP録音)。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。ただし、LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
STEREO	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	
MONO	モノラル	2倍	
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	
LP4	ステレオ(MDLP)	4倍	

..... 最良の音質です  
 ..... の音質より劣ります  
 ..... の音質より劣ります

## メモ

長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

## 注意

LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。

### 1. MD停止中にシステムメニューボタンを押します

メニューを中止したいときは停止(■)ボタンを押します。

### 2. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます

MD MENU

### 3. 決定ボタンを押します

### 4. ◀▶ ボタンを押して「REC MODE」を選びます

REC MODE

### 5. 決定ボタンを押します

### 6. ◀▶ ボタンを押して録音モードを選びます

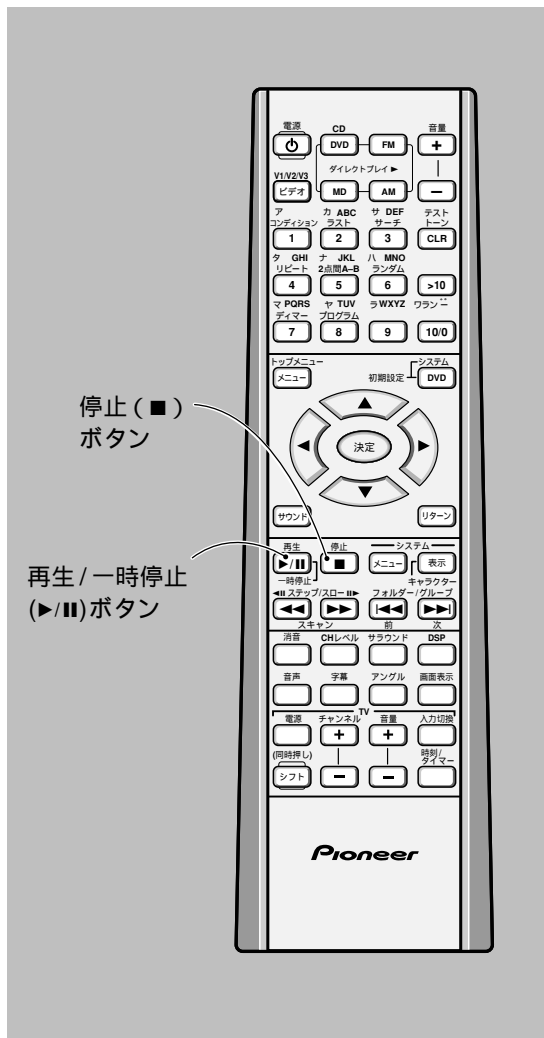
以下の4つの中から選びます。  
 STEREO録音モード：「STEREO?」  
 LP2録音モード：「LP2?」  
 LP4録音モード：「LP4?」  
 モノラル録音モード：「MONO LP?」

### 7. 決定ボタンを押します

手順6で選んだ録音モードに設定されます。

MDに録音する

# CD を MD に録音する



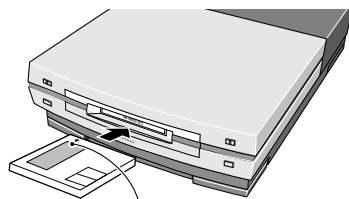
停止 (■) ボタン

再生/一時停止 (▶/||) ボタン

- MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- あらかじめデジタル/アナログ録音の設定をしておいてください。(22 ページ参照)
- アナログ設定では録音レベルを調整する必要はありません。デジタル設定ではデジタル録音レベルの設定値で録音されますので、適切なレベルになっているかご確認ください。(27 ページ参照)
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。(28 ページ参照)
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(6 ページ参照)
- DVD、VCD は以下の手順で録音することはできません。「マニュアルで録音する」(19 ページ参照)の方法で録音してください。

## 1. MD レコーダーに録音用の MD を入れます

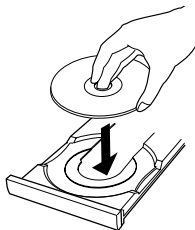
途中から自動的に引き込まれます。



ラベルを上にして矢印の方向から挿入します

## 2. DVD/CD チューナーの OPEN/COSE (▲) ボタン (タッチセンサー)

OPEN/CLOSE ▲ に触れてトレイを開き、CD をセットします

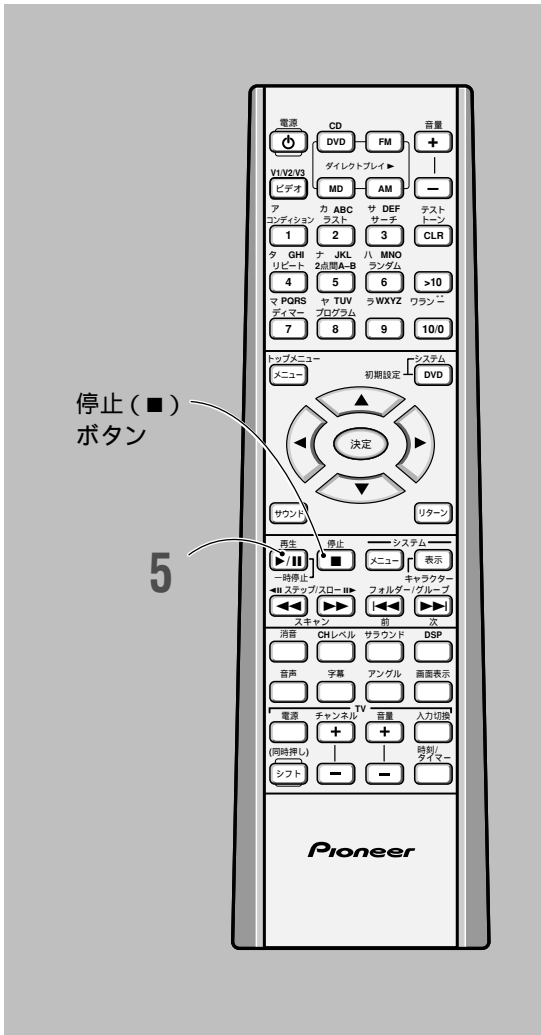


印刷面を上側に向けてセットします。ディスクの信号面にキズや汚れを付けしないでください。

## 3. DVD/CD チューナーの OPEN/COSE (▲) ボタン (タッチセンサー)

OPEN/CLOSE ▲ に触れてトレイを開めます

## CD を MD に録音する



### 4. MD レコーダー本体の MD 録音(●) ボタンを押します



録音一時停止状態になります。表示部は、**SYNCHRO** と **REC** が点滅し、REC インジケーターが点灯します。

### 5. 再生 / 一時停止ボタンを押します



自動的にMDの録音がスタートし、CDの演奏が始まります。表示部は、**SYNCHRO** と **REC** が点灯に変わります。



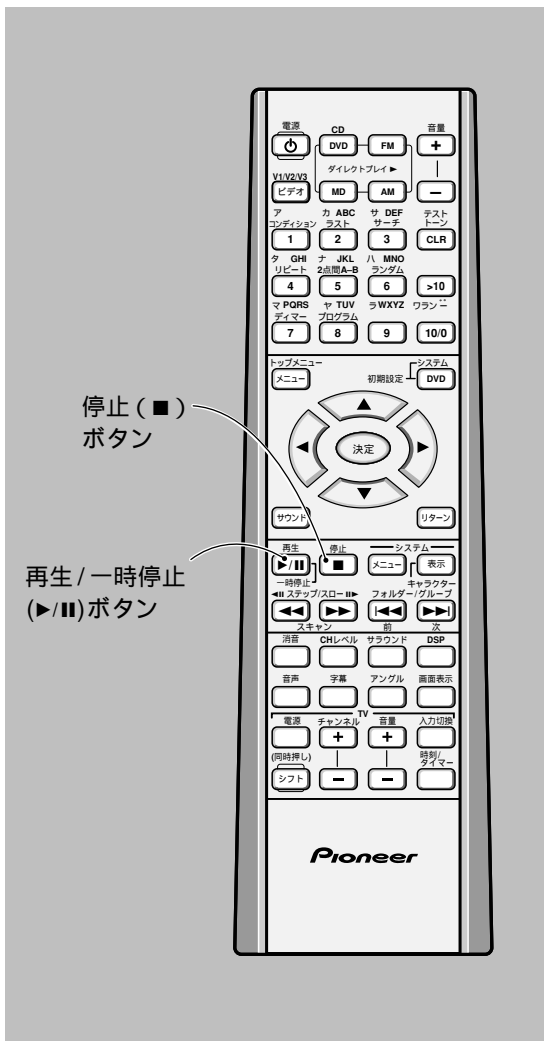
録音をやめるには ....

停止(■)ボタンを押します。

## メモ

CDの演奏が終了すると、MDも録音一時停止状態になります。この後CDディスクを入れ替えて再生 / 一時停止ボタンを押すと、続けて録音することができます。続けて録音しない場合は、停止(■)ボタンを押します。

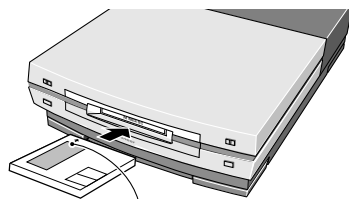
# CDの好きな曲だけをMDに録音する



- MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- あらかじめデジタル/アナログ録音の設定をしておいてください。(22ページ参照)
- アナログ設定では録音レベルを調整する必要はありません。デジタル設定ではデジタル録音レベルの設定値で録音されますので、適切なレベルになっているかご確認ください。(27ページ参照)
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。(28ページ参照)
- 誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(6ページ参照)
- DVD、VCDは以下の手順で録音することはできません。「マニュアルで録音する」(19ページ参照)の方法で録音してください。


## 1. MDレコーダーに録音用のMDを入れます

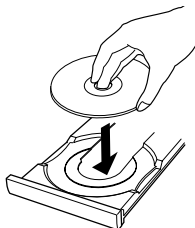
途中から自動的に引き込まれます。



ラベルを上にして矢印の方向から挿入


## 2. DVD/CDチューナーのOPEN/COSE(▲)ボタン(タッチセンサー)

OPEN/CLOSE  ▲ に触れてトレイを開き、CDをセットします



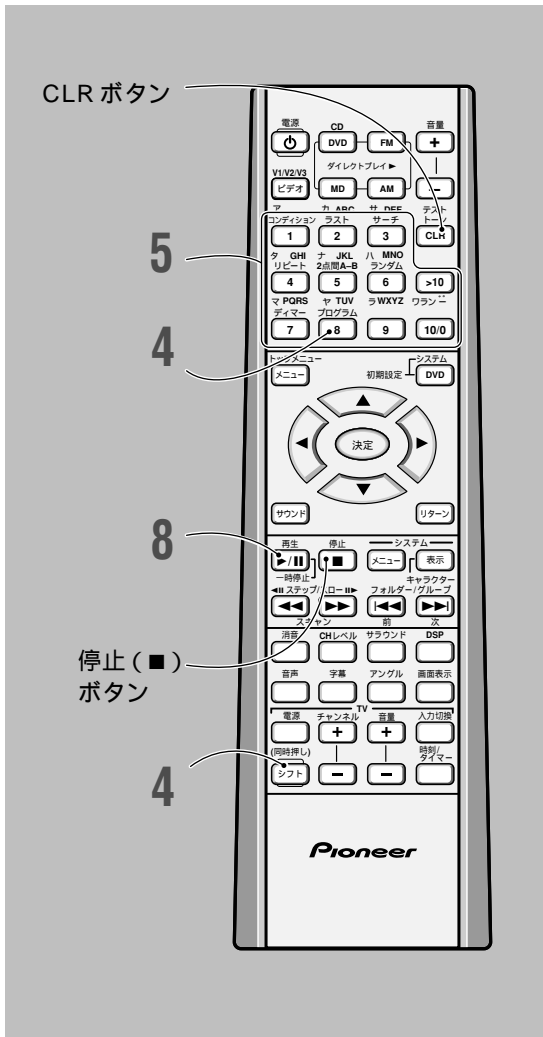
印刷面を上側に向けてセットします。ディスクの信号面にキズや汚れを付けしないでください。

## 3. DVD/CDチューナーのOPEN/COSE(▲)ボタン(タッチセンサー)

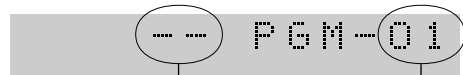
OPEN/CLOSE  ▲ に触れてトレイを開めます



# CDの好きな曲だけをMDに録音する



4. シフトボタンを押しながらプログラムボタンを押します



曲番号

プログラムステップ数

5. 数字ボタンを押して、聞きたい曲を選びます

例) 28 曲目

例) 108 曲目

28 PGM-01

6. 手順5を繰り返して、好きな曲を聞きたい順番に登録します

登録する曲を間違えた場合は、CLR ボタンを押します。押すごとに最後に登録した曲から順番に消えていきます。

7. MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します



録音一時停止状態になります。表示部は、**SYNCHRO** と  が点滅し、RECインジケーターが点灯します。

8. 再生 / 一時停止ボタンを押します



自動的にMDの録音がスタートし、CDの演奏が始まります。表示部は、**SYNCHRO** と  が点灯に変わります。

CD 1 0:02

REC  SYNCHRO

## メモ

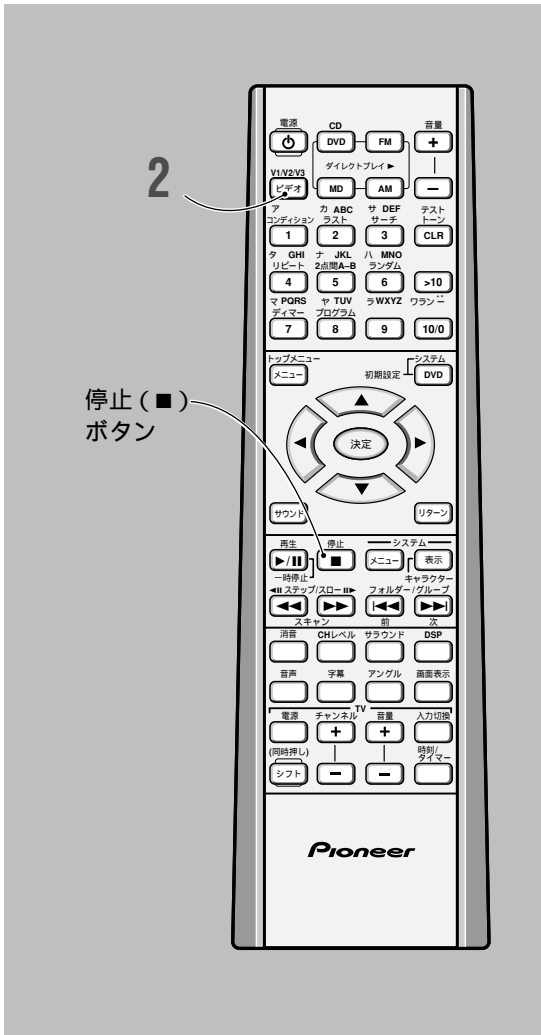
CDの演奏が終了すると、MDも録音一時停止状態になります。この後CDディスクを入れ替えて再生 / 一時停止ボタンを押すと、続けて録音することができます。続けて録音しない場合は、停止(■)ボタンを押します。

録音をやめるには....

停止(■)ボタンを押します。

MDに録音する

# 外部機器の録音



- MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。(28ページ参照)
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(6ページ参照)

## 1. MDレコーダーに録音用のMDを入れます

途中から自動的に引き込まれます。

あらかじめ曲番号の設定(20ページ参照)や長時間録音(MDLP)の設定(13ページ参照)、デジタル/アナログ設定(22ページ参照)をしておきます。さらに必要であればデジタル録音レベルの設定(27ページ参照)もしておきます。

## 2. 外部入力切替(ビデオ)ボタンを押します



VIDEO 1

## 3. 録音したい機器の準備をします

## 4. MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します



録音一時停止状態になります。表示部に、[ ] が点滅し、RECインジケーターが点灯します。

## 5. MDレコーダー本体の再生/一時停止(▶/■)ボタンを押します



録音が始まります。表示部は、[ ] が点灯に変わります

## 6. 手順3で選んだ機器の演奏を開始します

### 録音を一時停止するには....

MDレコーダー本体の再生/一時停止(▶/■)ボタンを押します。もう一度押しすと、録音を再開します。

### 曲番号を追加するには....

MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します

### 録音をやめるには....

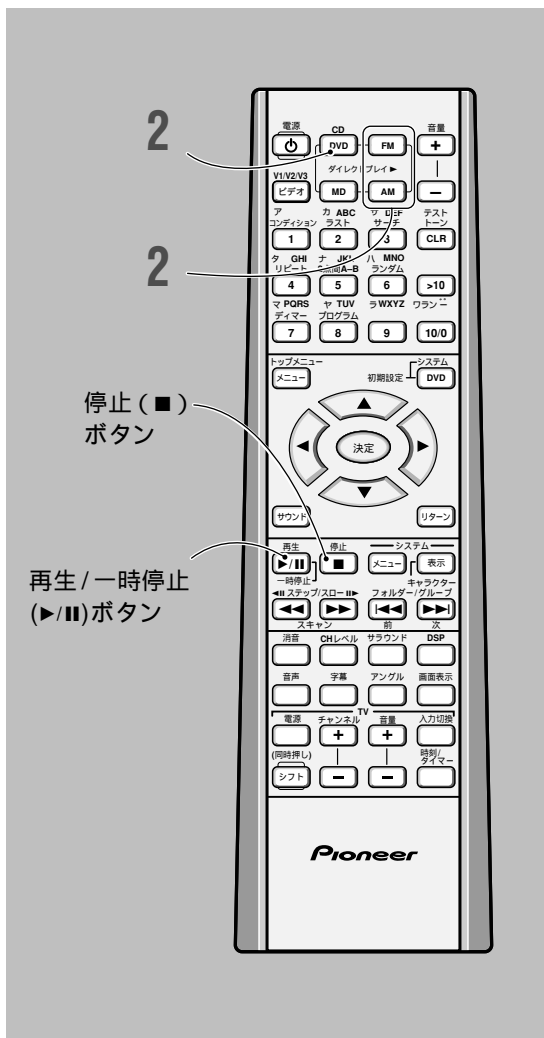
MDレコーダー本体の停止(■)ボタンを押します。

## 注意

MDの記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

デジタル録音する場合、必ずDVD/CDチューナーの外部入力(VIDEO1など)の音声入力の設定をデジタルに設定してください。デジタルに設定しないとDVD/CDチューナーの光デジタル出力から信号が出ないのでMDでデジタル録音しようとしても「MD DIN UNLOCK」と表示されます。

# マニュアルで録音する



- MDは自動的に録音されていない場所から録音を開始します。テープのように頭出しをする必要はありません。
- 本機は録音レベルを調整する必要はありません。
- ディスクの録音可能時間を知ることができます。(28ページ参照)
- 誤消去防止状態になっているMDには録音できません。(6ページ参照)

## 1. MDレコーダーに録音用のMDを入れます

- 途中から自動的に引き込まれます。

あらかじめ曲番号の設定(20ページ参照)や長時間録音(MDLP)の設定(13ページ参照)、デジタル/アナログ設定(22ページ参照)をしておきます。さらに必要であればデジタル録音レベルの設定(27ページ参照)もしておきます。

## 2. 録音したい機器を選びます



### FM/AM ラジオを録音する場合

FM/AMダイレクトプレイボタンを押してから、録音したい放送局を受信しておきます。



### CDを録音する場合

DVD(CD)ダイレクトプレイボタンを押します。再生状態になったら、再生/一時停止ボタンを押して、一時停止にします。◀◀▶▶▶▶ ボタンで録音したい曲を選ぶことができます。



## 3. MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します



表示部に、[ ] が点滅し、RECインジケーターが点灯します。

## 4. MDレコーダー本体のMD再生/一時停止(▶/||)ボタン(タッチセンサー)に触れます



録音が始まります。

## 5. 手順2で選んだ機器の演奏を開始します

### 録音を一時停止するには...

MDレコーダー本体の再生/一時停止(▶/||)ボタンを押す。もう一度押すと、録音を再開します。

### 曲番号を追加するには...

MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します

### 録音をやめるには...

MDレコーダー本体の停止(■)ボタンを押します。

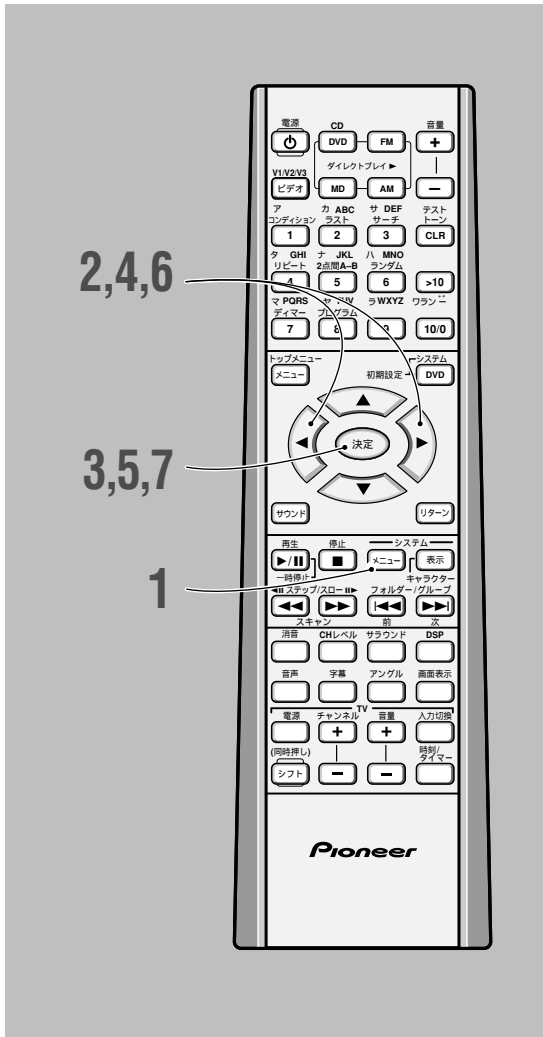
## 注意

MDの記録曲数は最大255曲です。ただし、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

DVDは制作者側の意図により、ディスクによってはデジタル録音を禁止しています。このようなディスクをデジタル録音しようとするとき「Can't COPY」と表示されます。このような場合はアナログ録音(22ページ参照)に切り換えてください。

MDに録音する

# 曲番号の設定をする



MDでは、CDまたはMD以外のデジタル録音やFM/AM放送以外のアナログ録音において、録音中に1.5秒以上の無音部分があると、自動的に曲番号をつける機能があります。(オートマーク機能)

オートマーク機能をオフにして、曲番号をつけずに、1回の録音を1つの曲番号で一続きの曲として録音することもできます。(オートマーク機能のオフ)

ただし、CDまたはMDのデジタル録音では、オートマークのオン/オフに関係なく、演奏側のCDやMDと同じ場所に同じ曲番号が付きます。

**1.** ファンクションがMD、チューナー以外のMD停止中にシステムメニューボタンを押します

メニューを中止したいときは停止(■)ボタンを押します。

**2.** ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます

MD MENU

**3.** 決定ボタンを押します

**4.** ◀▶ ボタンを押して、「AUTO MARK」を選びます

AUTO MARK

**5.** 決定ボタンを押します

**6.** ◀▶ ボタンを押して、オートマークのオンかオフを選びます

オートマークオンのときの表示

AUTO MARK ON?

オートマークオフのときの表示

AUTO MARK OFF?

**7.** 決定ボタンを押して決定します

オートマークオフを選ぶと、表示部から▶MDマークが消えます。

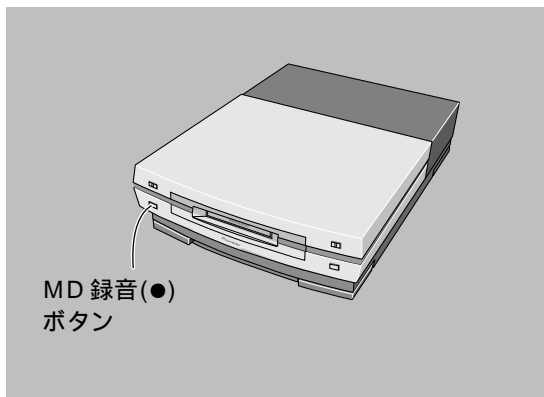
## 注意

設定はMD、チューナー以外の各ファンクションで記憶されます。

オートマークの切替は、停止中しかできません。

オートマークをオフにして録音した後は、オートマークをオンに戻しておくことをおすすめします。


# 録音中に曲番号を追加する



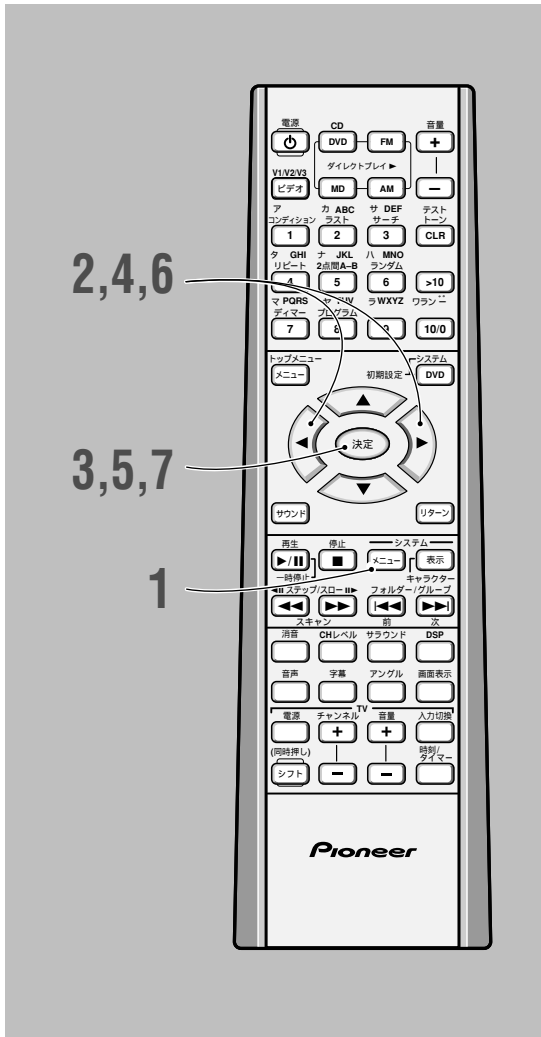
CDまたはMD以外のデジタル録音やFM/AM放送以外のアナログ録音において、録音中に1.5秒以上の無音部分があると、オートマーク機能により自動的に曲番号をつけますが、それ以外にも自分の好きなところに、曲番号を追加することができます。(録音中のみ可能)

FM/AM放送のように、オートマーク機能がオフのときの録音中でも、自分の好きなところに曲番号を追加することができます。

## 1. 録音中に、MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します


-  REC 押した場所から曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。


# アナログ設定をする




DVD/CDチューナーから録音する場合、DVD/CDチューナーとMDレコーダーが光ケーブルで接続されているとき、デジタル録音をするかアナログ録音するかを切り替えることができます。

デジタル録音されたCD-Rディスクなどは、SCMS(12ページ参照)によりMDなどに再度デジタル録音はできません。この場合はアナログ録音に切り替えて録音してください。

**1.**  ファンクションがMD、チューナー、VIDEO2以外のMD停止中にシステムメニューボタンを押します  
メニューを中止したいときは停止(■)ボタンを押します。


**2.**  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます


MD MENU

**3.**  決定ボタンを押します

**4.**  ◀▶ ボタンを押して、「INPUT SELECT」を選びます

INPUT SELECT


**5.**  決定ボタンを押します

**6.**  ◀▶ ボタンを押して、「DIGITAL?」か「ANALOG?」を選びます  
デジタル録音モードのときの表示

DIGITAL?

アナログ録音モードのときの表示

ANALOG?

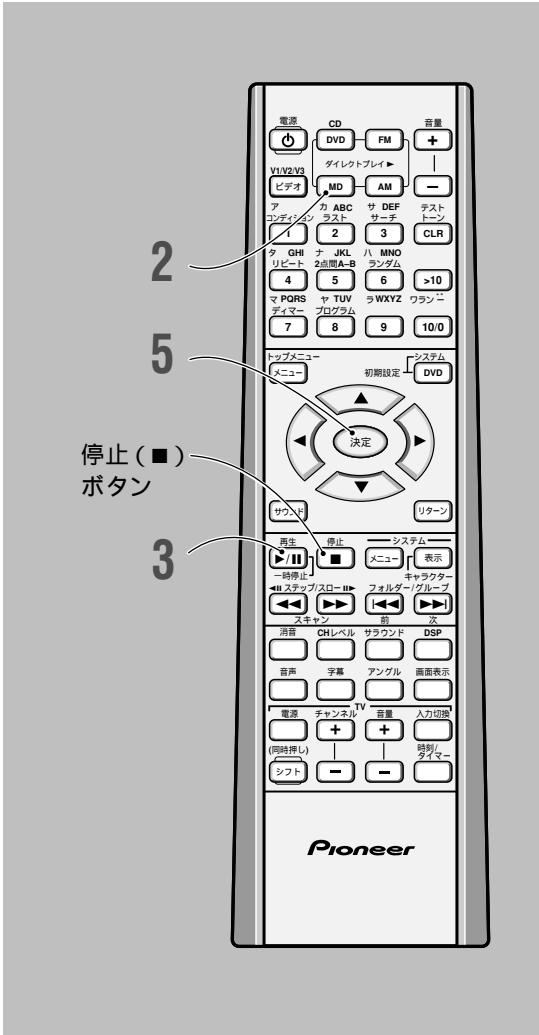
**7.**  決定ボタンを押して決定します  
アナログ録音モードを選ぶと、表示部からDIGITALが消えます。

## 注意

設定はMD、チューナー、VIDEO2以外の各ファンクションで記憶されます。

録音モードは、次に変更するまで変わりません。アナログ録音モードで録音した後はデジタル録音モードに戻しておくことをおすすめします。

# 曲の途中から続けて録音する



- あらかじめデジタル / アナログ録音の設定をしておいてください。(22 ページ参照)
- アナログ設定では録音レベルを調整する必要はありません。デジタル設定ではデジタル録音レベルの設定値で録音されますので、適切なレベルになっているかご確認ください。(27 ページ参照)
- 誤消去防止状態になっている MD には録音できません。(6 ページ参照)

MD は自動的に録音されていない場所をさがして録音を開始します。しかし、すでに録音されている曲の途中からも続けて録音することができます。

この場合、あらたに録音をはじめた位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。

例えば、10 曲録音されている MD において、3 曲目の頭からあらたに録音を少しでも開始してしまうと、3 曲目以降の曲はすべて消えてしまい、あらたに録音した曲になります。ご注意ください。

## 1. MD レコーダーに録音用の MD を入れます

途中から自動的に引き込まれます。  
あらかじめ曲番号の設定(20 ページ参照)や長時間録音(MDLP)の設定(13 ページ参照)をしておきます。

## 2. MD ダイレクトプレイボタンを押します

MD の演奏が開始されます。

## 3. 再生 / 一時停止(▶/||)ボタンを押します

演奏が一時停止します。

## 4. MD レコーダー本体の MD 録音(●)ボタンを押します

OVERWRITE?

## 5. 決定ボタンを押します

録音一時停止状態になります。  
録音を取り消す場合は、停止(■)ボタンを押します。

## 6. 録音したい機器を選びます

外部機器を録音する場合は、外部入力切替(ビデオ)ボタンを押す。

## 7. MD レコーダー本体の MD 再生 / 一時停止(▶/||)ボタン(タッチセンサー)に触れます

録音がスタートします。  
録音開始した時点で、その位置以降の曲はすべて消えてしまいます。

## 8. 録音したい機器の演奏を開始します

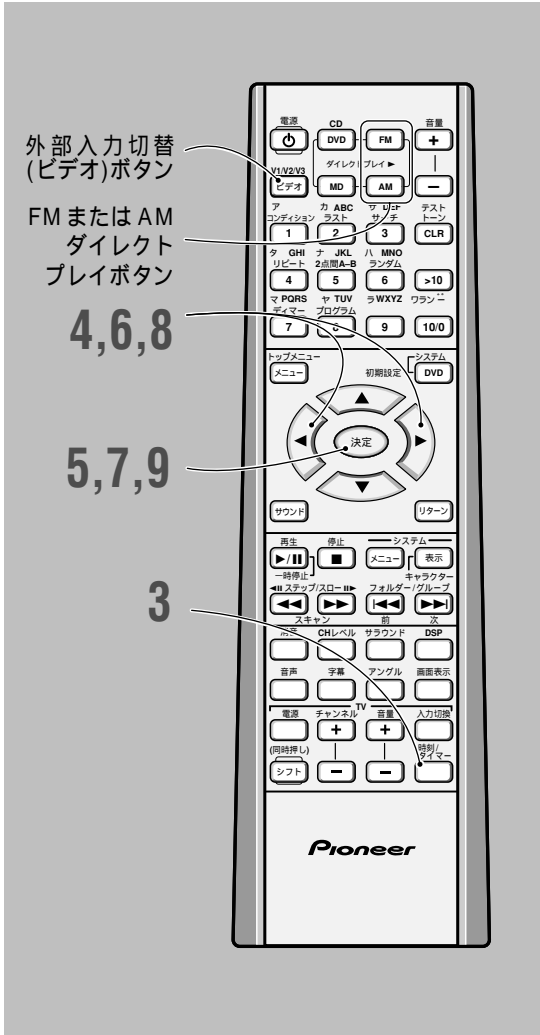
録音を一時停止するには...

MD レコーダー本体の MD 再生 / 一時停止(▶/||)ボタンを押します。  
もう一度押すと、録音を再開します。

録音をやめるには...

MD レコーダー本体の MD 停止(■)ボタンを押します。

# タイマー録音する



ラジオ放送や外部入力で接続している機器を本機でタイマー録音することができます。ラジオ放送や外部入力で接続している機器は、本機のタイマー録音が始まる前にあらかじめ再生されているように設定しておきます。詳しくはDVDシステムの取扱説明書をご覧ください。

## 1. MDレコーダーに録音用のMDを入れます

途中から自動的に引き込まれます。あらかじめ曲番号の設定(20ページ参照)や長時間録音(MDLP)の設定(13ページ参照)、デジタル/アナログ設定(22ページ参照)をしておきます。さらに必要であればデジタル録音レベルの設定(27ページ参照)もしておきます。

## 2. ラジオ放送や外部入力で接続している機器の再生を開始します

ラジオ放送をタイマー録音するときは、あらかじめ録音したい放送局を受信しておきます。

## 3. 時刻 / タイマー ボタンを押します



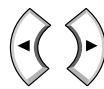
## 4. ◀▶ ボタンを押して、「TIMER REC」を選びます



## 5. 決定ボタンを押します



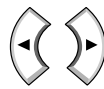
## 6. ◀▶ ボタンを押して、「TIMER EDIT」を選びます



## 7. 決定ボタンを押します



## 8. ◀▶ ボタンを押して、録音開始の時間を選びます

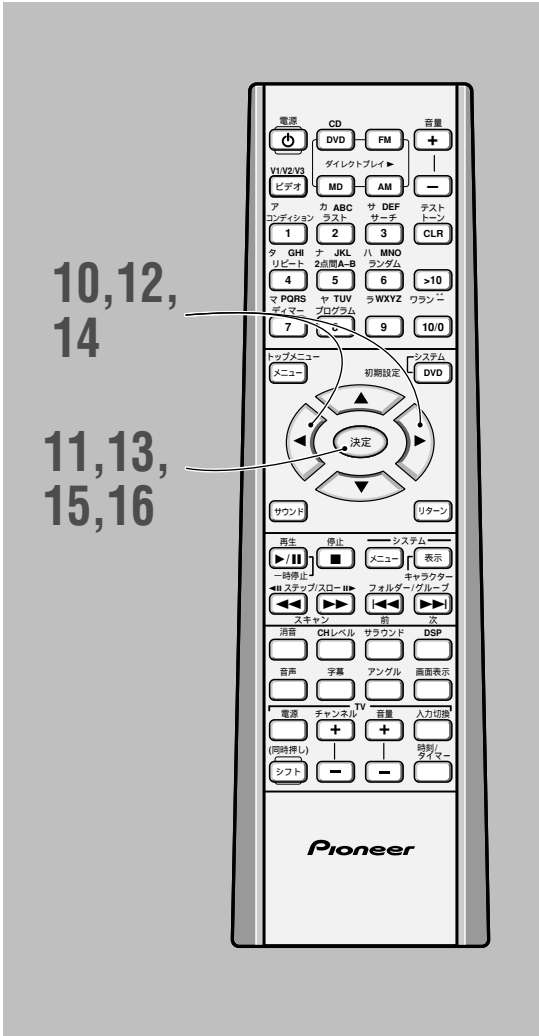


## 9. 決定ボタンを押します

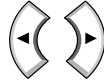




# タイマー録音する



10. ◀▶ ボタンを押して、録音開始の分を選びます

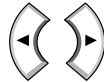


ON 10:30 am

11. 決定 ボタンを押します



12. ◀▶ ボタンを押して、録音終了の時間を選びます



OFF 11:00 am

13. 決定 ボタンを押します



14. ◀▶ ボタンを押して、録音終了の分を選びます



OFF 11:30 am

15. 決定 ボタンを押します



16. 決定 「MD REC」を確認して決定ボタンを押します

時計マークと録音マークがディスプレイに表示されタイマー録音が設定されます。その後、タイマー設定が表示されますので、確認することができます。

17. DVD システムをスタンバイ状態にします

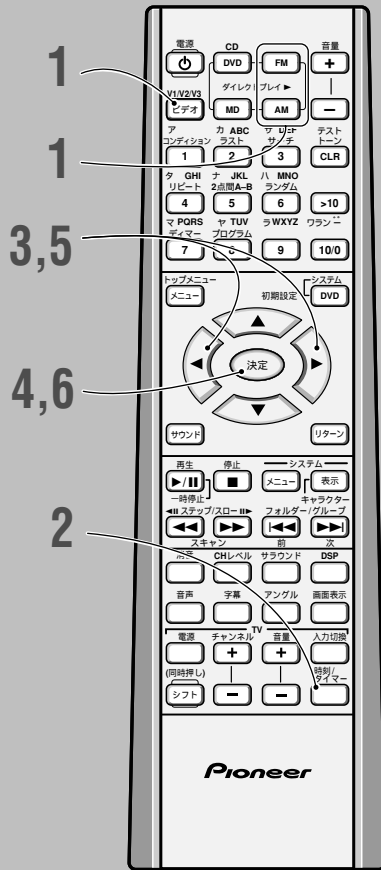
DVD システムのスタンバイ時に、時刻 / タイマーボタンを押すとタイマー設定の確認ができます。


## メモ

タイマー録音が終了すると、タイマー録音の設定は自動的に解除されます。

# タイマー録音を解除する


タイマー録音が終了すると、タイマー録音の設定は自動的に解除されますが、タイマー録音が始まる前にタイマー録音の設定を解除することができます。




1.  FM または AM ダイレクトプレイボタンか外部入力切替ボタンを押します





または  
V1/V2/V3  
ビデオ

2.  時刻 / タイマーボタンを押します


3.  ◀▶ ボタンを押して、「TIMER REC」を選びます

TIMER REC

4.  決定ボタンを押します

5.  ◀▶ ボタンを押して、「TIMER OFF」を選びます


TIMER OFF



6.  決定ボタンを押します  
時計マークと録音マークがディスプレイから消灯します。


# デジタル録音レベルを調整する



デジタル録音するときは、通常デジタル入力での録音レベルを調整する必要はありませんが、音量レベルが小さいMDやCDなどからデジタル録音するときに調整することをおすすめします。


1. DVD/CD チューナーに録音したいCDをセットします  
メニューを中止したいときは停止(■)ボタンを押します。



2.  DVD (CD)ダイレクトプレイボタンを押します  
演奏が開始されます。

3.  MDレコーダー本体のMD録音(●)ボタンを押します  
表示部に、 が点滅し、RECインジケーターが点灯します。


4.  システムメニューボタンを押します  
メニューを中止したいときは停止(■)ボタンを押します。


5.  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます  


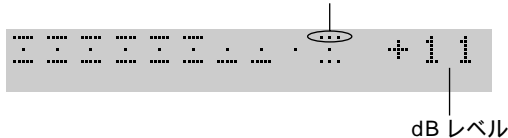
6.  決定ボタンを押します


7.  ◀▶ ボタンを押して、「DIGITAL VOLUME」を選びます  


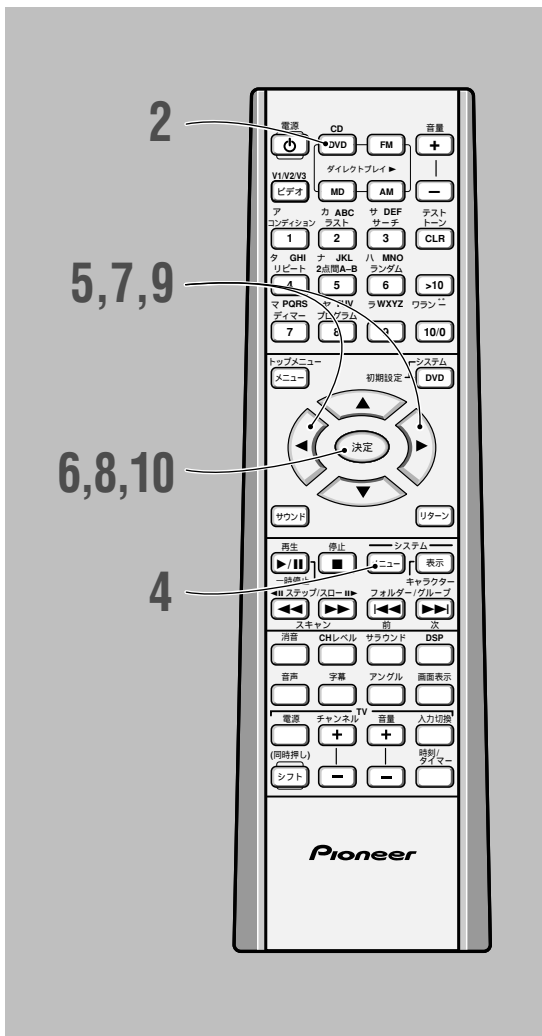
デジタル録音の設定(22ページ参照)がされていないと「DIGITAL VOLUME」は表示されません。

8.  決定ボタンを押します

9.  ◀▶ ボタンを押してデジタル録音レベルを調整します  
デジタル録音レベルの調整範囲は、「MIN ~ +20dB」です。最も大きな音が出たときにオーバーインジケーターまで届かないように調整します。  
オーバーインジケーター



10.  決定ボタンを押します



## メモ

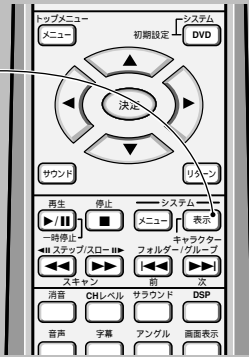
デジタル入力の録音レベルはデジタル録音が可能なファンクションごとに記憶されます。  
電源をOFFにした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。

## 注意

録音レベルを調整した後、続けてシンクロ録音をするときは、演奏している機器を停止させてから行ってください。

# 表示を切りかえる

システム表示  
ボタン

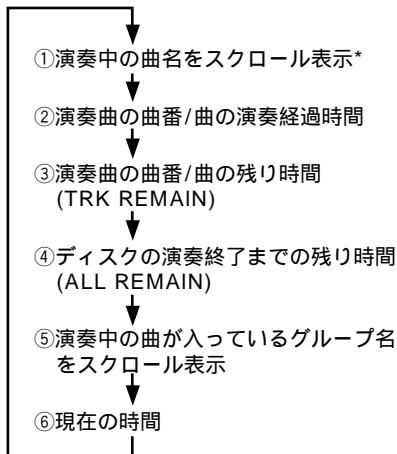


- ディスク名や曲名が付いていないと、「NO NAME」と表示し次の表示に移ります。
- グループ名が付いていない場合はグループの範囲(グループの先頭曲と最終曲)を表示します。

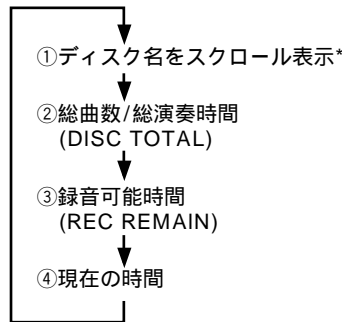
## システム表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように表示内容が切りかわります。

### 演奏中の表示

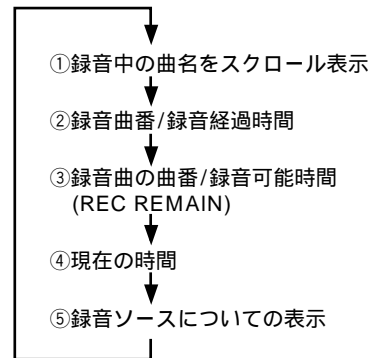


### 停止中の表示



曲を選択すると、①の表示は「曲名のスクロール表示」、②の表示は「曲番号 / 曲の演奏時間」③の表示は「グループ名のスクロール表示」になります。

### 録音中の表示



## 表示例

名前表示 (ディスクネーム / トラックネーム)

Jazz Standards

総曲数 / 総演奏時間 (DISC TOTAL)

MD 9 43 : 24

録音可能時間 (REC REMAIN)

MD 62 : 56

演奏曲の曲番 / 曲の残り時間 (TRK REMAIN)

MD 3 12 : 02

ディスクの演奏終了までの残り時間 (ALL REMAIN)

MD ALL 20 : 31

録音曲番 / 録音経過時間

MD 4 0 : 05

録音曲番 / 録音可能時間 (REC REMAIN)

MD 4 62 : 56

現在の時間

3 : 20 am

# MDの編集機能でできること

曲順を移動させたり、ディスクや曲に名前をつけたり、MDの編集機能を使うと、オリジナルのディスクを作ることができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたMD(6ページ参照)では編集メニューは使うことはできません。編集メニューを使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。

編集機能には次のようなものがあります。またアンドゥ機能(37ページ参照)を使うと、1つ前の編集作業をキャンセルすることができます。

## ディスクや曲、グループに名前をつける (ディスクネーム/トラックネーム /グループネーム機能)

ディスク全体の名前、曲ごとの名前、グループごとの名前がつけられます。再生中や頭出し時に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。

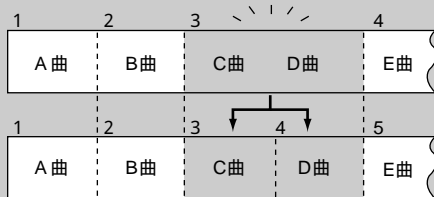
TAKE FIVE

カタカナ、英文字(大文字/小文字)、数字、記号が使用できます。

ディスク名とグループ名は合わせて最大約200文字まで入力できます。曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、1枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。

## 曲を2つに分ける(デバイド機能)

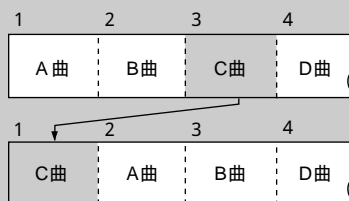
ひとつの曲を希望の位置で2つの曲に分けます。



1枚のMDで最大254曲まで曲を分けられます。ただし、253曲以下でも曲を分けられないことがあります。分けた曲以降の曲番は大きくなります。

## 1曲だけ移動する(ムーブ機能)

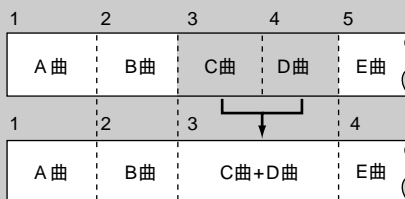
指定した曲を希望する場所へ移動します。



並べ換え後の曲番は自動的に調整されます。

## 2つの曲を1曲にする (コンバイン機能)

連続した2つの曲を、ひとつの曲にまとめます。

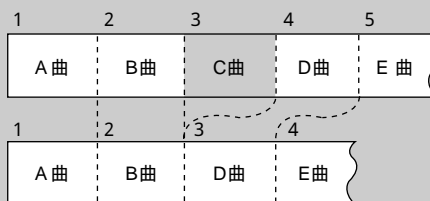


まとめた曲以降の曲番は小さくなります。

## 曲を消す

### (トラックイレース/オールイレース機能)

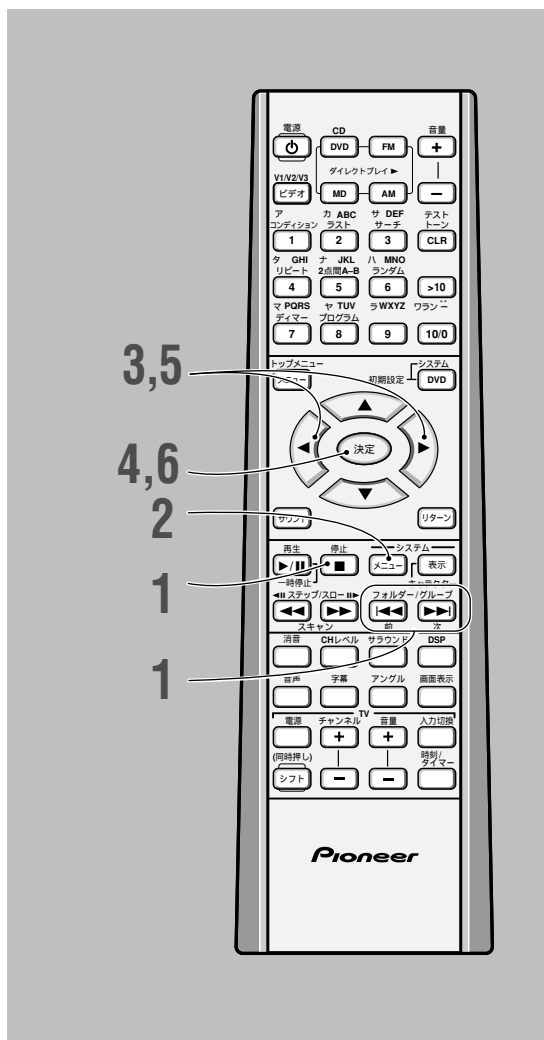
指定した1曲、またはディスク内のすべての曲を消します。(ディスク名・曲名も消えます。)



消した曲以降の曲番は小さくなります。

# ディスクや曲、グループに名前をつける

1枚のディスクには、ひとつのディスク名と最大255曲の曲名、最大10グループのグループ名をつけることができます。ディスクに名前をつけることをディスクネーム機能、曲に名前をつけることをトラックネーム機能、グループに名前をつけることをグループネーム機能と言います。



1. 曲に名前をつける場合は、◀▶ ボタンを押して、名前をつけたい曲を選択します



演奏中または録音中にも名前をつけることができます。





ディスクに名前をつける場合は、停止(■)ボタンを押します




グループに名前をつける場合は、停止(■)ボタンを押してから、33ページを参照して名前をつけたいグループを選択します


演奏中または録音中には名前をつけることができません。

2.  システムメニューボタンを押します

3.  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



4.  決定ボタンを押します

5.  ◀▶ ボタンを押して、「DISC NAME」または「TRACK NAME」「GROUP NAME」を選びます

曲名をつけるときは、「TRACK NAME」を選ぶ




ディスク名をつけるときは、「DISC NAME」を選ぶ



グループ名をつけるときは、「GROUP NAME」を選ぶ



6.  決定ボタンを押します



## メモ

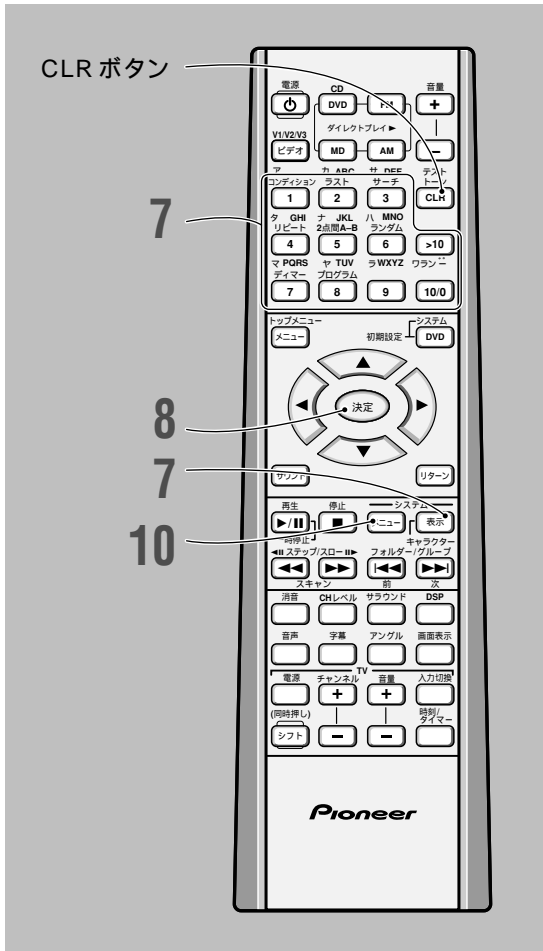
入力したい文字は◀▶▶▶ボタンでも選択することができます。その場合も、文字の種類を変えるときはキャラクター表示ボタンを押します。

## 注意

途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押してください。

演奏/録音中にトラックネームを入力していて、ネームの入力が完了する前に次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。演奏/録音が終わってからつづきを入力してください。

# ディスクや曲、グループに名前をつける

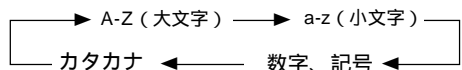


**7.** 数字（文字）ボタンで入力する文字を押します



表示  
キャラクター

文字の種類をかえる場合は、キャラクター表示ボタンを押します



**8.** 決定ボタンを押して決定します

決定



次に押す数字（文字）ボタンが前に押した数字（文字）ボタンと違う場合は決定ボタンを押す必要はありません。

入力した文字を間違えた場合は、◀ ボタンを押すと入力位置が左に移動しますので、移動させてから新しく入力直してください。また、CLR（クリア）ボタンで入力位置の文字を消すことができます。

**9.** 手順 7、8 を繰り返してすべての文字を入力します



**10.** システムメニューボタンを押して終了します

メニュー

## ディスク名・曲名・グループ名

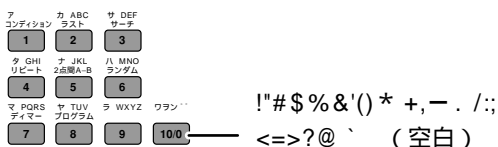
1つの名前に対して、それぞれ100文字まで入力できます。

### 1枚のMDの総文字数

ディスク名と曲名を合わせて約1792文字まで入力できます。文字数をこえると"NAME FULL"が表示されます。カタカナを入力しているときは、総文字数が減ります。

### 使える文字の種類

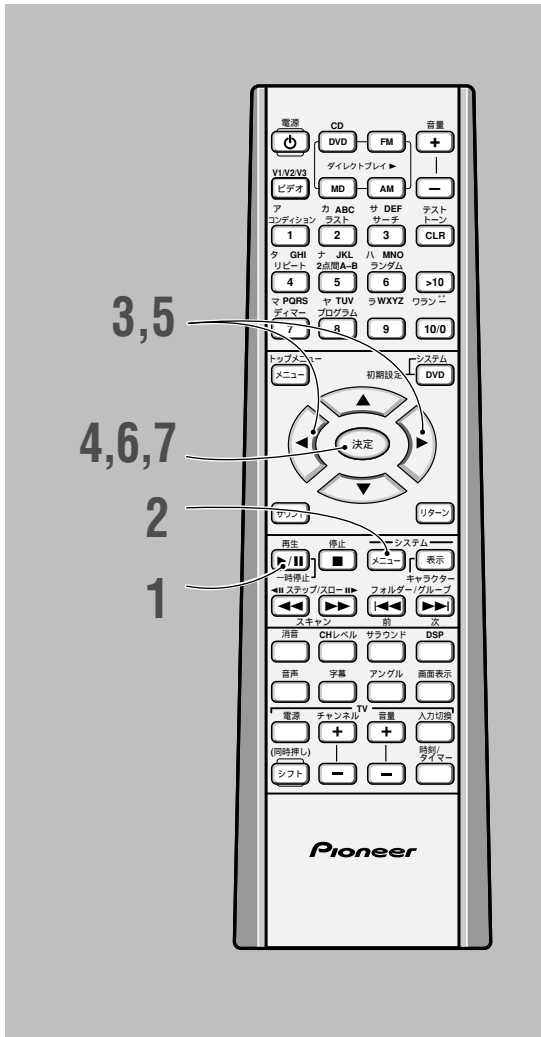
- アルファベット（大文字）: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ,./' （空白）
- アルファベット（小文字）: abcdefghijklmnopqrstuvwxyz,./' （空白）
- 数字、記号: 0123456789!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@\_` （空白）



- カタカナ: アイウエオカクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンアイウエオヤユヨツ` ° - （空白）

編集機能を使う


# 曲を2つに分ける




デバインド機能といいます。


録音後に1つの曲を2つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。

分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。また、分けた曲に曲名がついていた場合は、両方に同じ名前がつきます。


1.  再生  
演奏を聞きながら、曲の分けたい位置で再生/一時停止(▶/||)ボタンを押します


演奏が一時停止します。

2.  メニュー システムメニューボタンを押します


3.  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます

MD MENU

4.  決定 決定ボタンを押します

5.  ◀▶ ボタンを押して、「DIVIDE」を選びます

DIVIDE

6.  決定 決定ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

DIVIDE OK?

7.  決定 決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、デバインド機能を実行します。

COMPLETE

## メモ

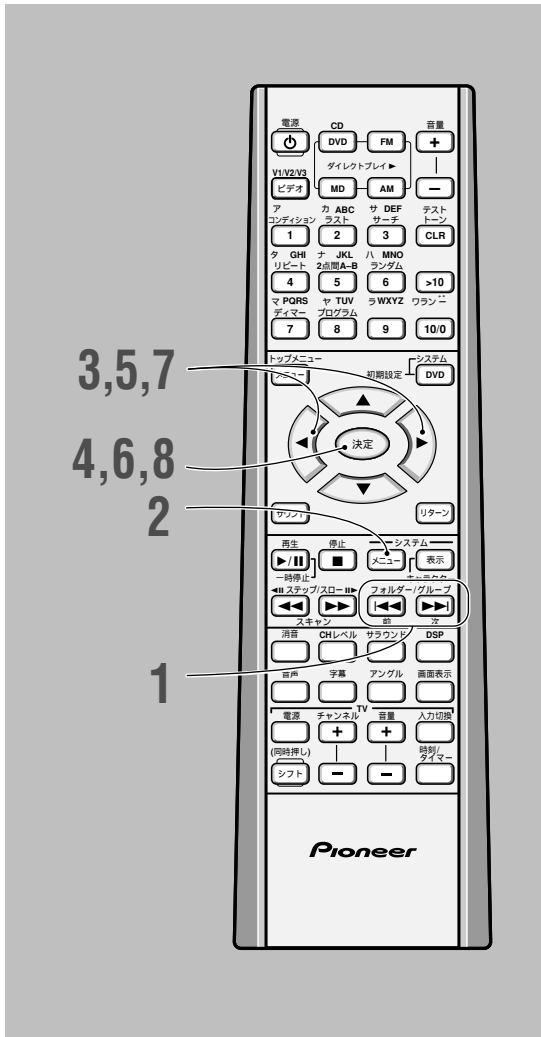
- 次の場合は曲を分けることはできません。
- ・プログラム演奏が設定されているとき
  - ・ランダム演奏が設定されているとき
  - ・グループ演奏が設定されているとき

## 注意

LP4モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

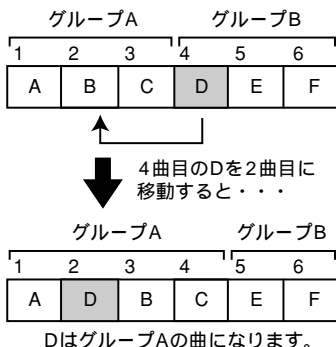


# 1 曲だけ移動する



## メモ

グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。例えば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループAの曲になります。



次の場合は曲を移動することはできません。

- ・プログラム演奏が設定されているとき
- ・ランダム演奏が設定されているとき
- ・グループ演奏が設定されているとき

ムーブ機能といいます。

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。デバインド機能やムーブ機能で入れ変わったMDの曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例) 4曲目を6曲目に移動する場合

1. ◀▶ ボタンを押して移動したい曲を選択します



MDは停止中、演奏一時停止中のどちらでもムーブ機能を使うことができます。

4曲目を移動するときの例

MD 4 4 : 12

2. [メニュー] システムメニューボタンを押します



3. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



MD MENU

4. [決定] 決定ボタンを押します



5. ◀▶ ボタンを押して、「MOVE」を選びます



MOVE

6. [決定] 決定ボタンを押します



確認の表示になります。やめる場合は、停止(7)ボタンを押します。

MOVE 4 → 1 ?

7. ◀▶ ボタンを押して、移動先の曲番号を選びます



例の場合は、6を選びます。

MOVE 4 → 6 ?

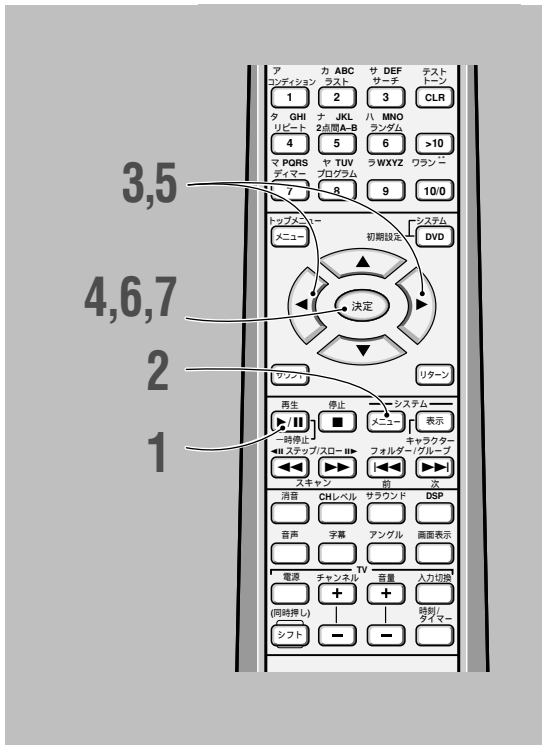
8. [決定] 決定ボタンを押して決定します



"COMPLETE"の表示が出て、ムーブ機能を実行します。

COMPLETE

# 2つの曲を1曲にする



コンバイン機能といいます。

連続したとなりどうしの曲をつないで、1曲にまとめます。つないだ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。つないだ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつかます。

例) 3曲目と4曲目をつなぐ場合

1. 再生/一時停止ボタンを押します

演奏が一時停止します。



例の場合は、4曲目を選びます。

2. システムメニューボタンを押します

3. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



4. 決定ボタンを押します

5. ◀▶ ボタンを押して、「COMBINE」を選びます



6. 決定ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。



7. 決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、コンバイン機能を実行します。



## メモ

離れた曲をつなぎたいときは、ムープ機能(33ページ参照)で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

コンバイン機能で入れ変わったMDの曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。

次の場合は2つの曲を1曲にすることはできません。

- ・プログラム演奏が設定されているとき
- ・ランダム演奏が設定されているとき
- ・グループ演奏が設定されているとき

## 注意

デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。

違う録音モードで録音した曲どうしは、つなぐことができません。

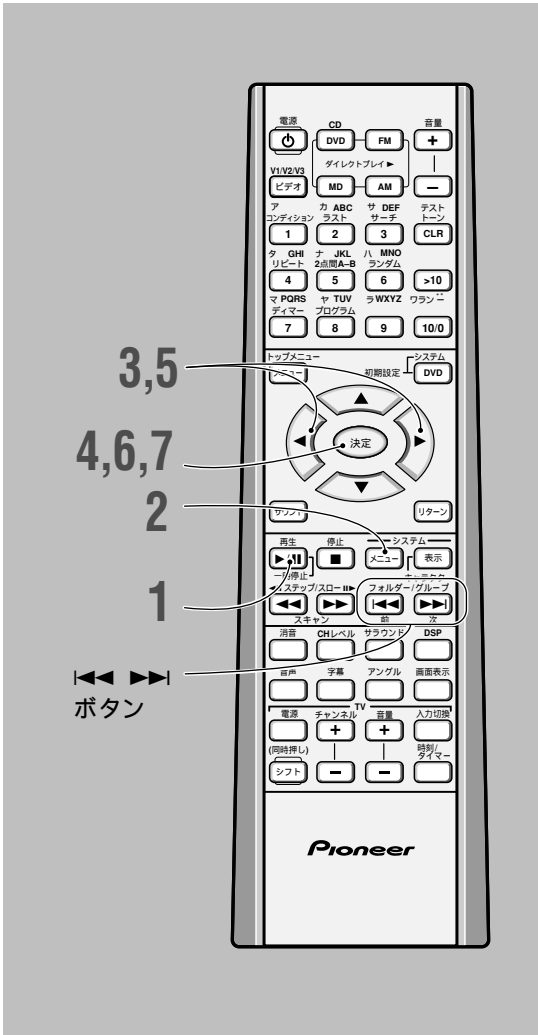
各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。

- ・通常のステレオ録音 : 8秒以下
- ・モノラル録音またはLP2録音 : 16秒以下
- ・LP4録音 : 32秒以下

LP4モードで長時間録音した曲をつなげると、つなげた部分でノイズが発生する場合があります。

# 曲を1曲だけ消す(トラックイレース)

選択した一つの曲と名前だけを消します。  
消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。



- 再生 (▶/⏸) ボタンを押します  
消したい曲の演奏中に、再生/一時停止(▶/⏸)ボタンを押します  
演奏が一時停止します。  
MD 停止中に、◀◀▶▶ボタンを押して、消したい曲を選択することもできます。



4 曲目を消すときの例

- メニュー (メニュー) ボタンを押します
- ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



- 決定 (決定) ボタンを押します
- ◀▶ ボタンを押して、「TRACK ERASE」を選びます



- 決定 (決定) ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。



- 決定 (決定) ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、イレース機能を実行します。

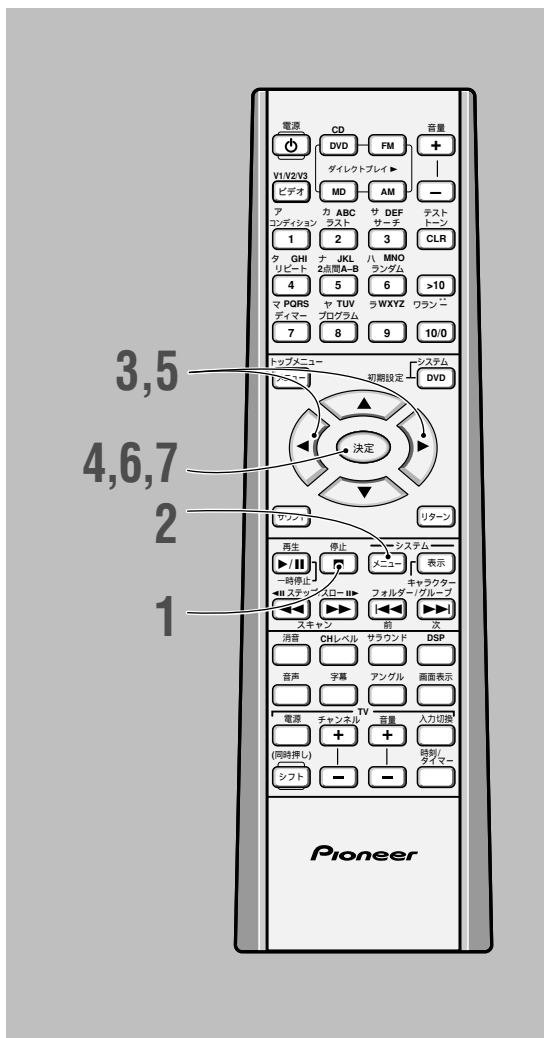



## メモ

- 次の場合は曲を消すことはできません。
- ・プログラム演奏が設定されているとき
  - ・ランダム演奏が設定されているとき
  - ・グループ演奏が設定されているとき


# 全曲を消す（オールイレース）


ディスクの全曲を消します。ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。




1.  停止中に停止(■)ボタンを押します  
表示部の内容が、総曲数 / 総演奏時間表示またはディスクネーム表示になります。  
● 総曲数表示の例

MD 9 62:40

2.  システムメニューボタンを押します


3.  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます

MD MENU


4.  決定ボタンを押します

5.  ◀▶ ボタンを押して、「ALL ERASE」を選びます

ALL ERASE

6.  決定ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。

ALL ERASE?

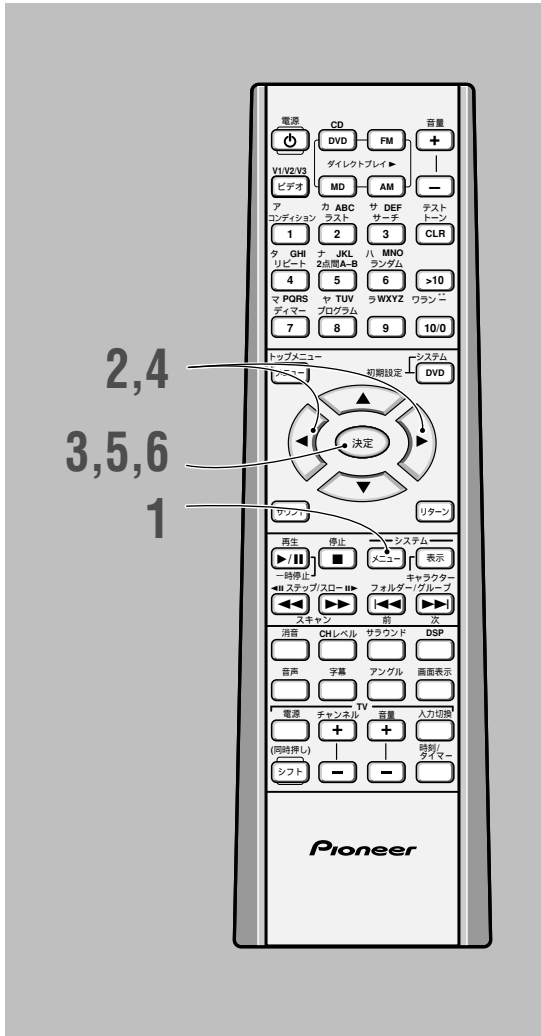
7.  決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、オールイレース機能を実行します。

COMPLETE

## メモ

- 次の場合は曲を消すことはできません。
- ・プログラム演奏が設定されているとき
  - ・ランダム演奏が設定されているとき
  - ・グループ演奏が設定されているとき

# 編集をキャンセルする



アンドゥ機能といえます。

編集操作を行った後で、1つ前の編集作業をキャンセルすることができます。

ただし、グループ登録されたMDディスクではアンドゥ機能は使えません。

## キャンセルできる編集の種類

- デバインド機能
- コンバイン機能
- ムーブ機能
- トラック / オールイレース機能
- MD 停止中のネームの機能

## キャンセルできなくなる編集の種類

この操作を行うと"<sup>キャンセル</sup>ANDU"と表示され、キャンセルできなくなります。

- MD の取り出しを行ったとき
- 電源を切ったとき
- 停電が発生したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき

1. システムメニューボタンを押します

2. **◀▶ ボタン**を押して「MD MENU」を選びます

MD MENU

3. **決定**ボタンを押します

4. **◀▶ ボタン**を押して、「UNDO」を選びます

UNDO

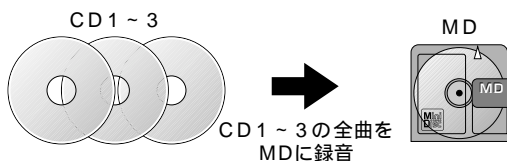
5. **決定**ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンまたはキャンセルボタンを押します。

6. **決定**ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、アンドゥ機能を実行します。

# MDのグループ機能について

## グループ機能とは

長時間録音モード(LP2またはLP4モード)で録音すると、複数のCDを1枚のMDに録音でき、100曲以上録音できたりして便利です。



しかし・・・

「録音した3枚目のCDはMDの何曲目からなの?」というように曲を見つけるのが大変です。

そこで・・・

本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

## グループディスクを作成する(グループ登録) - 39ページ

### ● グループを登録する

MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク(グループディスク)を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大10個です。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L

↓ グループ登録すると

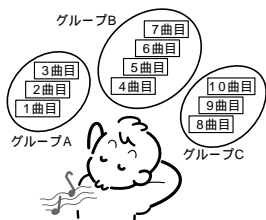
グループA			グループB				グループC				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。

- グループを変更する
- 登録したグループを一部解除する
- 登録したグループをすべて解除する

## グループを選ぶ(グループサーチ機能) - 40ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。



グループA → グループB  
→ グループCの先頭曲(1曲目 → 4曲目 → 8曲目)  
というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に入ります。

## 選択したグループだけ演奏するよう設定する(グループ演奏機能) - 41ページ

グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の演奏を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの演奏だけを行なうグループプレイモードとに切りかえることができます。

## グループに名前を付ける(グループネーム機能) - 30～31ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。入力できる文字の種類、最大文字数については、31ページを参照してください。

## グループ登録したMDディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。



ディスクネーム「CM SONGS」  
グループネーム「グループA」「グループB」

1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	C	D	E	F	G	H

上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。

そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。

0; CM SONGS //1 - 3; グループA//4 - 8; グループB//

## グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載していない機器で編集しないでください。

例えば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

## 本機のグループ機能の制限

本機で扱えるグループは最大10個までです。

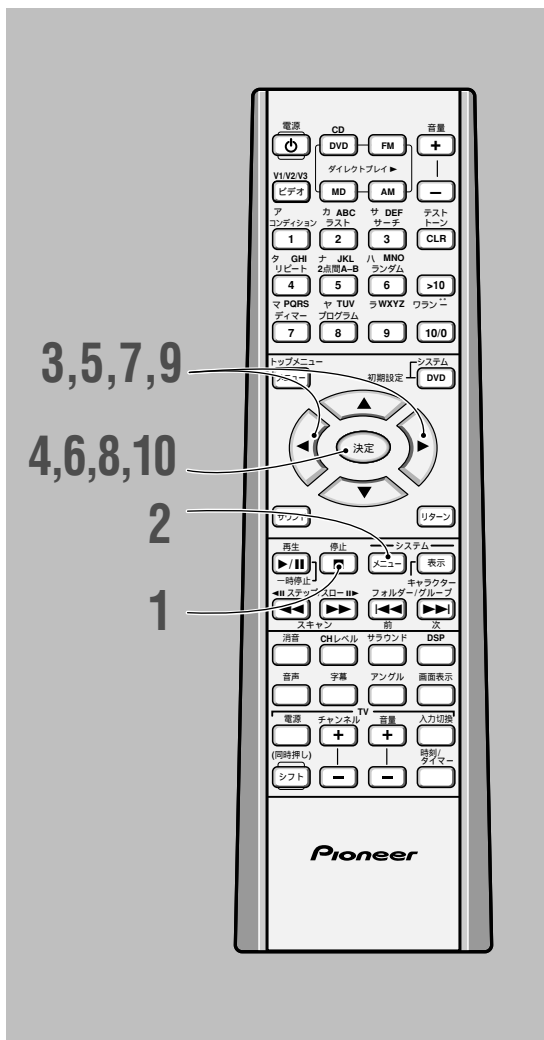
そのため、本機で11個目以上のグループを持つMDディスクを使用した場合、11個目以降のグループは以下の作業を行うと消去されますのでご注意ください。

- MDの編集(29～37ページの操作)
- グループの登録、変更、解除(39～44ページの操作)

また、パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMDディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- MDの編集(29～37ページの操作)
- グループの登録、変更、解除(39～44ページの操作)





# グループを登録する



グループ登録機能といえます。  
MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。  
ただしグループ登録は、曲番号が1~3のように連続している曲でしか行なうことはできません。  
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能(33ページ参照)を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。  
1枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で10個です。

例) 1~14曲目を新しいグループに設定する場合

1. 停止中に停止(■)ボタンを押します
2. システムメニューボタンを押します
3. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます  

4. 決定ボタンを押します
5. ◀▶ ボタンを押して、「NEW GROUP」を選びます  

6. 決定ボタンを押します
7. ◀▶ ボタンでグループの先頭曲を選びます  

8. 決定ボタンを押します
9. ◀▶ ボタンでグループの最終曲を選びます  

10. 決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、ムーブ機能を実行します。  


## 注意

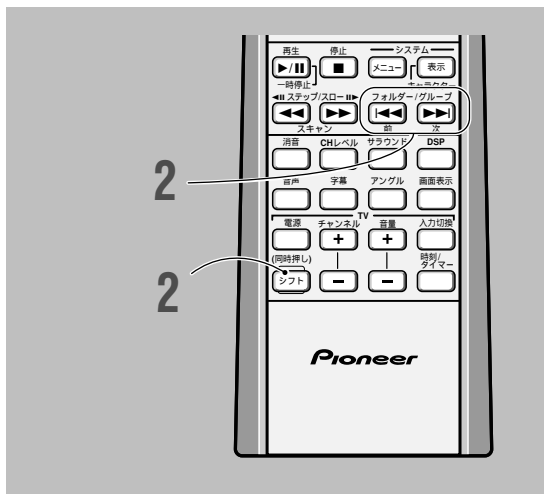
1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、1~3曲目をグループAに3~5曲目をグループBにというように3曲目を二つのグループに登録することはできません。

曲を飛び越えてグループ登録することはできません。例えば1, 3, 5曲目というような飛び飛びの曲番号をグループとして登録することはできません。



すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、新たに登録しようとしている方の範囲を優先します。

本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ演奏をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているため、MDプレーヤーの故障ではありません。

# グループを選ぶ



グループサーチ機能といいます。  
グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。  
グループ登録されていない場合は、39ページを参照してグループ登録をしてください。

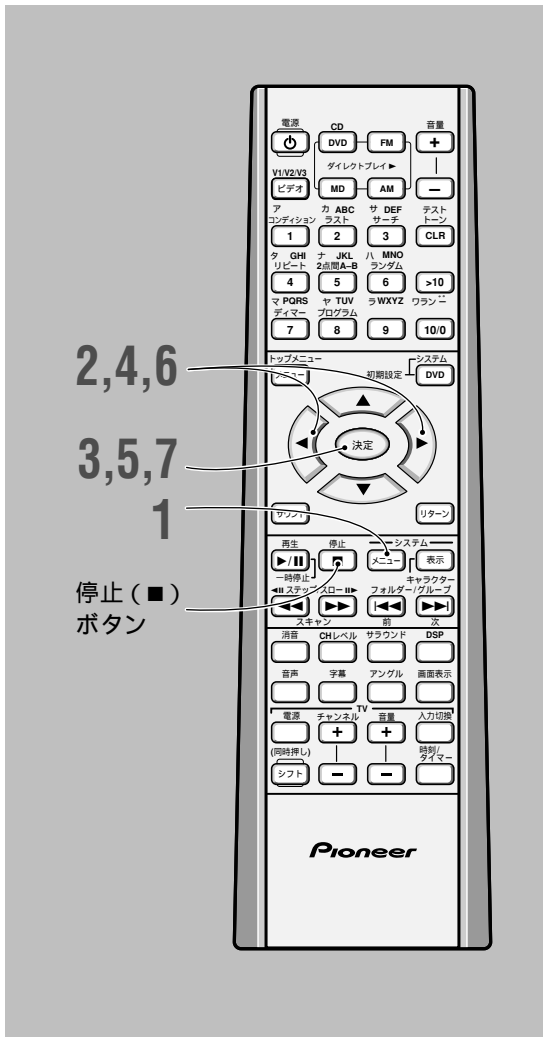
1. MD 停止中または演奏中にします
  2.  (同時押し) シフト ボタンを押しながら  ボタンを押して聞きたいグループを選びます
- |              |        |
|--------------|--------|
| MD           | 4 - 13 |
| BONUS TRACKS |        |

## 注意

プログラム演奏が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。  
グループに名前が入力されていない場合は、"NO NAME" と表示されます。



# グループ演奏をする



グループ登録されているMDにおいて、選択したグループだけを演奏するよう、次の二つの演奏モードが設定できます。

- **グループプレイモード**  
グループサーチ機能(前ページ参照)で選択したグループ内の曲だけ演奏します。
- **オールトラックプレイモード**  
グループに関係なく、ディスク全体の演奏を行ないます。

1. MD 停止中にシステムメニューボタンを押します

2. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



3. 決定ボタンを押します

4. ◀▶ ボタンを押して、「PLAY MODE」を選びます



5. 決定ボタンを押します

6. ◀▶ ボタンを押して、オールトラックプレイモードかグループプレイモードかを選びます



7. 決定ボタンを押して決定します  
オールトラックプレイモードを設定した場合は、「ALL」が点灯します。

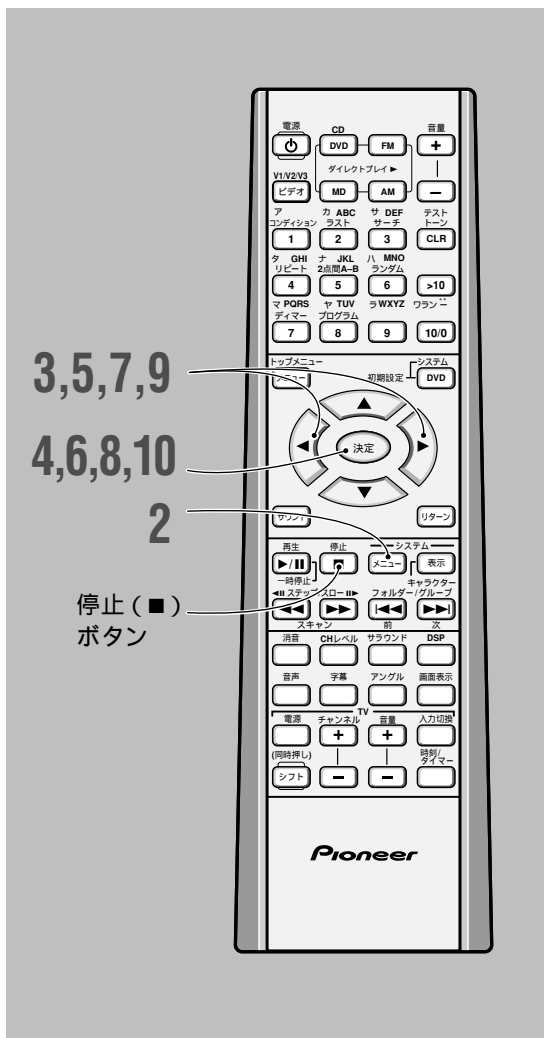
編集機能を使う

## 注意

グループプレイモードに設定されていると、MDの編集作業(29～37ページ)、グループディスクの作成(39ページ)、グループの変更、解除(42～44ページ)はできません。グループ演奏の設定を解除してから操作をしてください。また、グループプレイモードに設定されていると、聞きたい曲を数字で選ぶことはできません。この場合、聞きたい曲は◀▶ボタンで選んでください。

# グループを変更する

例) 12~15曲目のグループを10~13曲目に変更します。

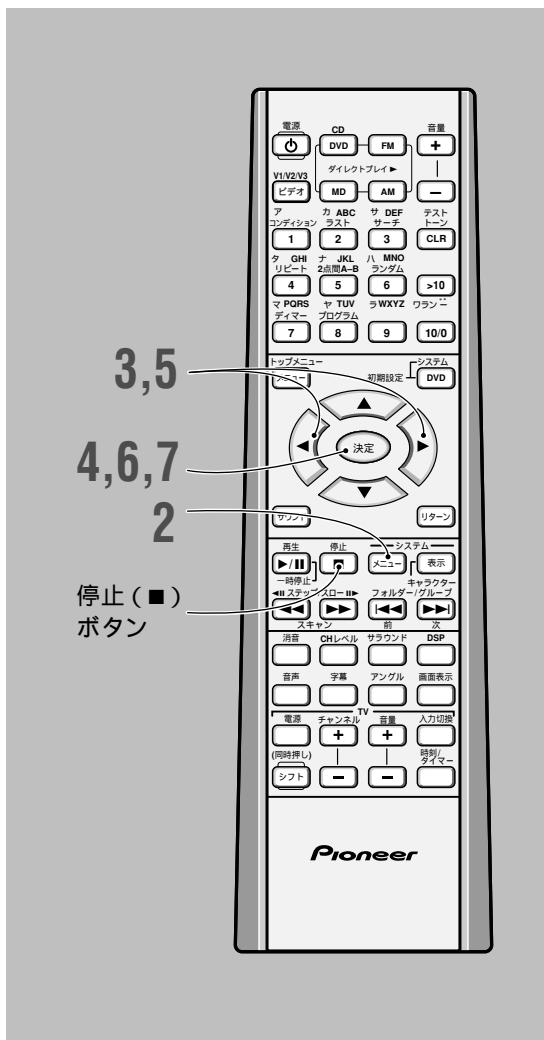


1. MD 停止中に変更したいグループを選びます (40 ページ参照)
2. システムメニューボタンを押します
3. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます
4. 決定ボタンを押します
5. ◀▶ ボタンを押して、「GROUP EDIT」を選びます
6. 決定ボタンを押します
7. ◀▶ ボタンでグループの先頭曲を変更します
8. 決定ボタンを押します
9. ◀▶ ボタンでグループの最終曲を変更します
10. 決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE" の表示が出て、グループ登録の変更を実行します。

## 注意

すでに登録されているグループと変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、変更しようとしている方の範囲を優先します。  
グループプレイモード(41ページ参照)が設定されているときは、登録したグループの変更はできません。

# グループ1つを解除する



1. MD 停止中に解除したいグループを選びます (40 ページ参照)

2. システムメニューボタンを押します

3. ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます



4. 決定ボタンを押します

5. ◀▶ ボタンを押して、「GROUP CANCEL」を選びます



6. 決定ボタンを押します  
確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。



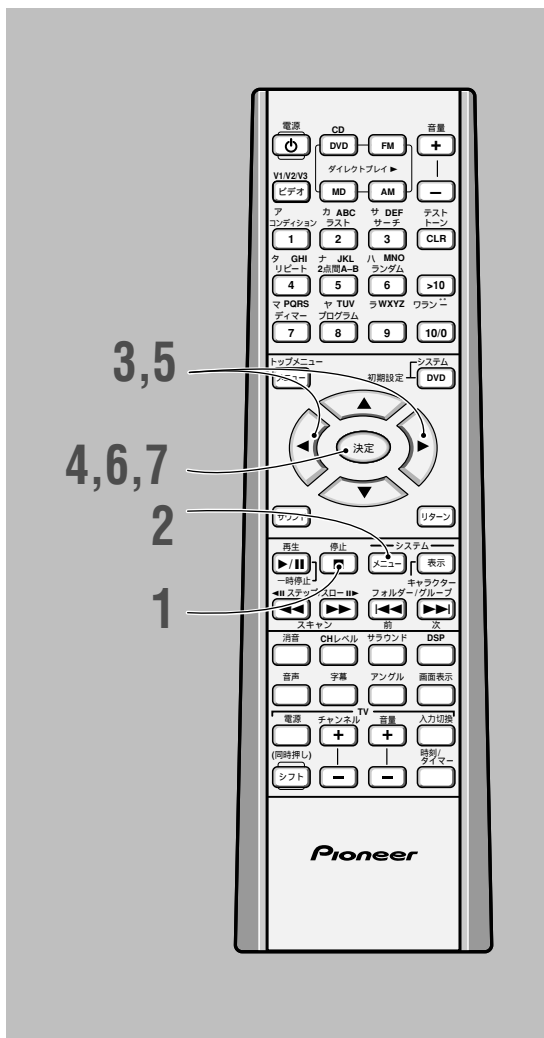
7. 決定ボタンを押して決定します  
"COMPLETE"の表示が出て、グループを解除します。

## 注意

グループプレイモード(41ページ参照)が設定されているときは、登録したグループの解除はできません。


編集機能を使う

# 登録したグループすべてを解除する




1.  停止中に停止(■)ボタンを押します

---


2.  システムメニューボタンを押します

---


3.  ◀▶ ボタンを押して「MD MENU」を選びます  

MD MENU

---


4.  決定ボタンを押します

---

5.  ◀▶ ボタンを押して、「GROUP CANCEL」を選びます  

GROUP CANCEL

---

6.  決定ボタンを押します  
 確認の表示になります。やめる場合は、停止(■)ボタンを押します。  

ALL CANCEL?

---

7.  決定ボタンを押して決定します  
 "COMPLETE"の表示が出て、すべてのグループを解除します。

## 注意

グループプレイモード(41ページ参照)が設定されているときは、登録したグループの解除はできません。

# こんな表示が出たときは

表 示	意 味	処 置
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが入っていない。</li> <li>● MDのデータが読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDを入れる</li> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> </ul>
DISC ER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがついている。</li> <li>● TOCがMDに書き込まれていないが、データに異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDをもう一度入れ直す。</li> <li>● 他のMDと取り換える。</li> </ul>
?DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データに異常がある。規格外のMDである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取り換える。</li> </ul>
DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDに録音できる空がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何も記録されていない。 (音楽のディスク名も記録されていない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生するときは、録音されたMDと取り換える。</li> </ul>
Playback MD	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音用MDと取り換える。</li> </ul>
PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが誤消去防止状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止状態をもとに戻す。</li> </ul>
TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音をやり直すか、MDを換えてみる。</li> </ul>
TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度が高くなりすぎた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切ってしばらく休ませる。</li> </ul>
Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 編集できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。</li> </ul>
NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名/曲名を登録するあきがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名/曲名を短くする。</li> </ul>
DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の録音用MDと取り換える。</li> </ul>
MECH E	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが正しく働いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切って、取出しボタンを押す。</li> </ul>
Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー禁止のものから録音しようとした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。</li> <li>● アナログ録音にする。</li> </ul>
NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオ用でないデータが記録されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の曲を選ぶ。</li> <li>● MDを取り換える。</li> </ul>
UTOER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を切って、もう一度書き込みを試みる。 (書き込み中はショックを与えないください。)</li> </ul>
TOC ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないなかったり、読めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他のMDと取り換える。</li> <li>● オールイレースをし、録音をやり直す。</li> </ul>
DIN UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル入力するとき、正常な信号が入力されない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル入力端子に光ケーブルが正しく接続されているか確認する。</li> <li>● DVD/CDチューナーで、外部機器が接続されている外部入力(VIDEO1など)の音声入力設定をデジタルにする。</li> </ul>

→ 「故障? ちょっと調べてください」もご覧ください [P.146](#)。

は数字や記号です。

# 故障？ちょっと調べてください

- 故障かな・・・？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのバイオサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原因と思われること	処 置
音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグがはずれている。</li> <li>● すべてのコードが完全に接続されていない。</li> <li>● CDレシーバーの入力切替が正しく選択されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを正しく接続する。</li> <li>● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。</li> <li>● 聞きたい機器を選択する。</li> </ul>
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDが誤消去防止状態になっている。</li> <li>● 再生専用MDを入れている。</li> <li>● TOCがいっぱいになっている。(録音、編集を繰り返すと、このようになることがあります。)</li> <li>● 光ファイバーケーブルが正しく接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤消去防止つまみを閉じる。</li> <li>● MDを入れかえる。</li> <li>● 全曲消去を行えば新たに録音できます。</li> <li>● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。</li> </ul>
モノラルで録音されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モノラル長時間モードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音モードをステレオモードにする <b>P.13</b></li> </ul>
MDを入れても“NO DISC”と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクにキズが付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDを交換する。</li> </ul>
音がとぎれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MDレコーダーが結露している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1時間程待ってから再生する。</li> </ul>
短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> </ul>
録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最小録音単位が2秒のため、これに満たない曲でも2秒のスペースを使っているため合わないことがある。</li> <li>● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● MDを交換する。</li> </ul>
曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 録音、編集くり返したディスクでこのようになることがある。</li> <li>● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。</li> <li>● 違う録音モードで録音した曲をつなごうとしている。(ステレオ録音とLP2録音した曲など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障ではありません。</li> <li>● デジタルと、アナログはつなげません。</li> <li>● 違う録音モードで録音した曲はつなげません。</li> </ul>
グループ機能が使えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループディスクとして認識されていない。</li> <li>● グループ機能がない機器でディスクネームを編集した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名を消去してグループを登録し直す。</li> </ul>
編集やグループ関連のメニューが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ再生モードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ再生モードを解除する。</li> </ul>

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

# アフターサービス

- 保証書（別添）について  
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

- 補修用性能部品の最低保有期間  
ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理に関するご質問、ご相談  
お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。  
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。
- 修理を依頼されるとき  
45～46ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。
- 連絡していただきたい内容  
万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ミニディスクレコーダー
- 型番：MJ-HT77
- お買い上げ日
- 故障の状況(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物、公園など)

保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

# 日ごろのお手入れ

## 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。



このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

# 仕様

記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生方式	非接触光学式
入力サンプリング周波数	..... 44.1KHz、32KHz、48KHz
周波数特性	..... 20Hz～20KHz
SN比	..... 96 dB
ワウフラッター	..... 測定限界以下
電源電圧	..... AC100V、50/60Hz
消費電力	..... 10 W
スタンバイ時消費電力	..... 1 W
(HTZ-77DVとの組み合わせ)	.....
外形寸法	220(幅)×65(高さ)×313(奥行)mm
本体質量	..... 2.5kg

## 付属品

保証書	..... 1
取扱説明書(本書)	..... 1
安全上のご注意	..... 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	..... 1
光ケーブル	..... 1
電源コード	..... 1

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

**ご注意**：本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

## 著作権について

放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したディスクを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 JASRAC・音権協	横浜支部	TEL 045(662)6551 (代表)	
本 部	TEL 03(3481)2121(大代表)	静岡支部	TEL 054(254)2621 (代表)
北海道支部	TEL 011(221)5088 (代表)	中部支部	TEL 052(583)7590 (代表)
盛岡支部	TEL 019(652)3201 (代表)	北陸支部	TEL 076(221)3602 (代表)
仙台支部	TEL 022(264)2266 (代表)	京都支部	TEL 075(251)0134 (代表)
長野支部	TEL 026(225)7111 (代表)	大阪支部	TEL 06(6244)0351 (代表)
大宮支部	TEL 048(643)5461 (代表)	大阪北支部	TEL 06(6244)7077 (代表)
上野支部	TEL 03(3832)1033 (代表)	神戸支部	TEL 078(322)0561 (代表)
東京支部	TEL 03(3562)4455 (代表)	中国支部	TEL 082(249)6362 (代表)
西東京支部	TEL 03(3232)8301 (代表)	四国支部	TEL 0878(21)9191 (代表)
東京(イ)ント		九州支部	TEL 092(441)2285 (代表)
ソナト支部	TEL 03(5286)1671 (代表)	鹿児島支部	TEL 099(224)6211 (代表)
立川支部	TEL 0425(29)1500 (代表)	那覇支部	TEL 098(863)1228 (代表)

(2001年5月現在)

## お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口

**☎0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口

**☎0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。  
修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

### 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。